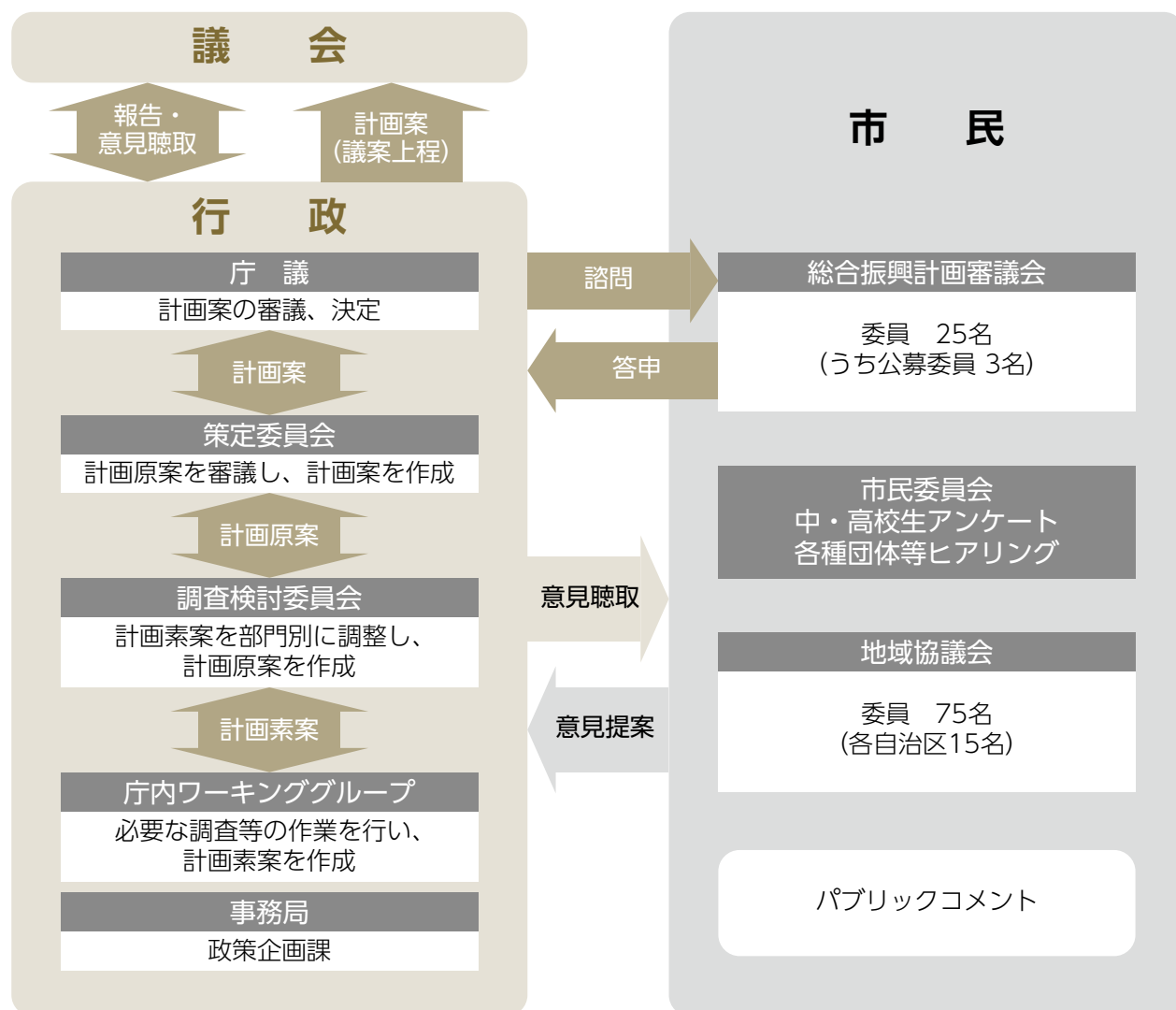


第4章

資料編

■資料1	第2次浜田市総合振興計画の策定体制	154
■資料2	浜田市総合振興計画審議会条例	155
■資料3	浜田市総合振興計画審議会委員名簿	156
■資料4	第2次浜田市総合振興計画の策定経過	157
■資料5	第2次浜田市総合振興計画等の諮問・答申	158
■資料6	現状・目標値一覧	159
■資料7	元気な浜田づくり市民委員会開催結果報告書	165
■資料8	中・高校生の地域や将来意識に関するアンケート 調査結果報告書(抜粋)	173
■資料9	地区まちづくり推進委員会の設立状況	185
■資料10	用語の解説	186
■資料11	憲章、宣言、浜田市民歌	189

資料1 第2次浜田市総合振興計画の策定体制



浜田市総合振興計画策定委員会

役 職	職 名	人数
委員長	市長	23名
委 員	副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長、教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長、都市建設部長、議会事務局長、教育部長、消防長、上下水道部長、広域行政組合事務局長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長	

浜田市総合振興計画調査検討委員会

役 職	職 名	人数
委員長	地域政策部次長(政策企画課長)	16名
委 員	市長公室長、総務部次長、地域プロジェクト推進室長、財務部次長、健康福祉部次長、市民生活部次長、産業経済部次長、都市建設部次長、教育部次長、消防本部次長、上下水道部次長、金城支所防災自治課長、旭支所防災自治課長、弥栄支所防災自治課長、三隅支所防災自治課長	

資料 2 浜田市総合振興計画審議会条例

(目的及び設置)

第1条 浜田市の総合振興計画に関し必要な調査審議を行うため、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、浜田市総合振興計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織等)

第2条 審議会は、25人以内の委員で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 識見者
- (2) 関係行政機関の委員及び職員
- (3) 公共的団体の代表
- (4) その他市長が特に必要と認める者

(任期)

第3条 委員の任期は、総合振興計画に関する調査審議に要する間とする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第6条 審議会に、必要に応じて部会を置くことができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、政策企画課において処理する。

(その他)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、会長が会議に諮り定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日後又は委員の任期満了後最初に開かれる審議会の会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集するものとする。

附 則(平成22年3月26日条例第4号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成23年6月17日条例第28号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年6月19日条例第27号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年6月20日条例第22号)

この条例は、公布の日から施行する。

資料3 浜田市総合振興計画審議会委員名簿

(敬称略、順不同)

区 分	役職	氏 名	摘 要
識見者	会 長	林 秀 司	島根県立大学教授
	副会長	田 中 恭 子	島根県立大学准教授
	委 員	西 井 久美子	浜田人権擁護委員協議会会長
関係行政機関の委員及び職員	委 員	藤 本 孝 男	浜田市教育委員会教育委員
公共的団体の代表	委 員	岩 谷 百合雄	浜田商工会議所会頭
	委 員	榎 岡 正 明	石央商工会会長
	委 員	来 原 明 宏	浜田金融会(山陰合同銀行浜田支店長) 平成27年7月から山陰合同銀行調査役
	委 員	大 谷 克 雄	浜田市社会福祉協議会会長
	委 員	佐々木 重 盛	島根県農業協同組合 いわみ中央地区本部企画総務部長
	委 員	一法師 康 裕	石央森林組合総務課長
	委 員	渡 邊 恭 郎	漁業協同組合 J F しまね浜田支所支所運営委員長 (平成27年6月27日～)
		築 谷 允 行	漁業協同組合 J F しまね浜田支所長 (平成27年4月～同年6月26日)
	委 員	中 村 洋 平	一般社団法人浜田青年会議所理事長
	委 員	長 松 美千子	浜田女性ネットワーク事務局長
	委 員	須 堯 亜 衣	連合浜田地区会議
その他市長が 特に必要と認める者	委 員	村 井 栄美子	浜田自治区地域協議会副会長
	委 員	小 野 豊 子	金城自治区地域協議会委員
	委 員	馬 場 真由美	旭自治区地域協議会委員
	委 員	栗 栖 一 雄	弥栄自治区地域協議会会長
	委 員	木 村 正 行	三隅自治区地域協議会委員
	委 員	花 田 香	N P O 法人浜田おやこ劇場理事長
	委 員	山 岡 鉄 兵	特定非営利活動法人 浜田ライフセービングクラブ理事長
	委 員	柿 元 信 次	I ターン者
	委 員	佐々木 玲 慈	公募委員
	委 員	玉 置 悦 子	公募委員
	委 員	佐々木 大 輔	公募委員
合 計		25名	

〔任期〕 平成27年4月10日～平成28年3月31日

資料 4 第2次浜田市総合振興計画の策定経過

平成27年	総合振興計画審議会	庁内会議、市民・議会の意見聴取
3月		2日 「(仮称)第2次浜田市総合振興計画」策定方針決定 23日 第1回(庁内)策定委員会開催
4月	1日～17日 審議会公募委員募集 22日 審議会委員を決定 30日 第1回審議会開催 (市長から審議会会長へ諮問)	27日 第2回(庁内)策定委員会開催
5月	21日 第2回審議会開催	12日 第1回「元気な浜田づくり市民委員会」 (100人委員会)開催 16日 第2回「元気な浜田づくり市民委員会」 (100人委員会)開催 19日 第3回(庁内)策定委員会開催
6月	30日 第3回審議会開催	15日 第1回(庁内)調査検討委員会開催 29日 第4回(庁内)策定委員会開催
7月	29日 第4回審議会開催	8日～17日 中・高校生の地域や将来意識に関する アンケート調査実施 17日 第1回市議会との意見交換会開催 23日 第5回(庁内)策定委員会・ 調査検討委員会合同会議開催
8月	3日 第1回第2部会開催 6日 第1回第1部会開催 17日 第1回第3部会開催 18日 第2回第1部会開催 20日 第5回審議会開催	12日 第2回市議会との意見交換会開催 17日 第6回(庁内)策定委員会開催 28日 第7回(庁内)策定委員会開催
9月	24日 第6回審議会開催 28日 審議会会長から市長へ中間答申	8日～10日 第3回市議会との意見交換会開催 (9月議会常任委員会で実施) 18日 第8回(庁内)策定委員会開催
10月	9日 第7回審議会開催 28日 第8回審議会開催 29日 審議会会長から市長へ答申	1日 パブリックコメント実施 (10月1日～10月20日) 9日 「元気な浜田づくり市民委員会」成果報告会開催 19日 団体代表者ヒアリング (10月19日～10月20日)実施 23日 第4回市議会との意見交換会開催 30日 第9回(庁内)策定委員会開催
12月	16日 12月市議会定例会において「第2次浜田市総合振興計画」を議決	

資料5 第2次浜田市総合振興計画等の諮問・答申

〔諮問書〕

政 第 36 号
平成27年4月30日

浜田市総合振興計画審議会会長 様

浜田市長 久保田 章 市

「(仮称)第2次浜田市総合振興計画」等の策定について(諮問)

「(仮称)第2次浜田市総合振興計画」及び「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に当たり、貴審議会の意見を求めたいので諮問します。

なお、多様な視点からご審議いただき、元気な浜田づくりが進められるものとなるよう、よろしくお願いします。

記

諮問事項

- 1 「(仮称)第2次浜田市総合振興計画」の素案について
- 2 「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案について

〔答申書〕

平成27年10月29日

浜田市長 久保田 章 市 様

浜田市総合振興計画審議会
会長 林 秀 司

「第2次浜田市総合振興計画」等の案について(答申)

平成27年4月30日付け、政第36号で諮問のありました「(仮称)第2次浜田市総合振興計画」及び「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定につきまして、当審議会において慎重に審議し、下記のとおり取りまとめましたので、意見を付して答申します。

記

1 答申事項

- (1) 「第2次浜田市総合振興計画(案)」について (別紙のとおり)
- (2) 「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」について (別紙のとおり)

2 計画推進にあたっての意見

- (1) 人口減少対策プロジェクトについて
人口減少に伴って各地域の機能低下が懸念されるため、在住する市民への定住施策と、U・Iターン者受入の定住施策の両面から、全市・全庁的な人口減少対策に取り組むこと。
- (2) 行財政運営について
今後、厳しい財政運営が見込まれるため、市民や企業、団体、ボランティアなどと協働した各種事業を進めるとともに、積極的な行財政改革に取り組むこと。
- (3) 総合振興計画及び総合戦略の進捗管理について
総合振興計画及び総合戦略の進捗管理については、市民等による組織で評価を毎年実施し、より多くの市民に分かりやすく情報提供できるように努めること。

資料6 現状・目標値一覧

第3節 部門別計画 ～一体的なまちづくり～

まちづくりの大綱

施策大綱

	目標	現状値	目標値
I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち【産業経済部門】			
1 水産業の振興			
沖合底曳網漁業リシップ事業取り組み統数の増加	平成26年度	3ヶ統	平成33年度 5ヶ統
まき網漁業構造改革取り組み統数の増加	平成26年度	0ヶ統	平成33年度 2ヶ統
新規漁業研修者数の増加 (若者漁業者・ふるさと漁業研修生)	平成26年度	3人	平成33年度 18人
高度衛生管理型荷捌所整備率の増加	平成26年度	0%	平成33年度 100%
「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加	平成26年度	130店	平成33年度 140店
ヒラメ稚魚育成尾数の増加	平成26年度	8万尾	平成33年度 48万尾
アワビ稚貝放流数の増加	平成26年度	16,000個	平成33年度 96,000個
漁港機能保全計画策定箇所数の増加	平成26年度	1か所	平成33年度 3か所
漁港海岸長寿命化計画策定箇所数の増加	平成26年度	0か所	平成33年度 1か所
2 農林業の振興			
振興作物農業産出額の増加	平成26年度	173,295千円	平成33年度 200,000千円
新規就農者の新規認定数の増加	平成26年度	3経営体	平成33年度 毎年1経営体
認定農業者数の新規認定数の増加	平成26年度	1経営体	平成33年度 毎年1経営体
集落営農組織数の増加	平成26年度	30組織	平成33年度 33組織
森林経営計画に基づく原木生産量の増加	平成26年度	8,069m ³	平成33年度 12,500m ³
苗木生産量の増加	平成26年度	22,550本	平成33年度 91,000本
3 商工業の振興			
新商品の開発件数の増加	平成26年度	66件	平成33年度 102件
開業企業数の維持	平成26年度	33件	平成33年度 33件
4 国際貿易港浜田港など港湾を活用した産業振興			
外貿内貿貨物取扱量の増加	平成26年	52万トン	平成33年 70万トン
コンテナ貨物取扱量の増加	平成26年度	3,414TEU	平成33年度 4,500TEU
クルーズ客船の寄港回数の増加	平成26年度	2回	平成33年度 5回
5 観光・交流の推進			
浜田の五地想ものがたり協賛店舗数の増加	平成26年度	34店舗	平成33年度 40店舗
はまごちツープライス料理提供 食数の増加	(1,400円)	平成26年度 17,009食	平成33年度 30,000食
	(2,800円)	平成26年度 10,629食	平成33年度 20,000食
宿泊客数の増加	平成26年	225,043人	平成33年 250,000人
合宿等誘致人数の増加	平成26年度	3,642人	平成33年度 5,000人
6 企業立地による雇用の推進			
新規立地企業数の増加	平成26年度	1社	平成33年度 12社
新規学卒地元就職者数の増加	平成26年度	57人	平成33年度 100人

まちづくりの大綱

施策大綱

目標

現状値

目標値

II 健康でいきいきと暮らせるまち【健康福祉部門】

1 医療体制の充実

浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加(へき地診療所等5施設)

平成27年度

3人

平成33年度

4人

2 健康づくりの推進

健康寿命の延伸

(男)

平成27年度

81.47歳

平成33年度

82.02歳

(女)

平成27年度

84.90歳

平成33年度

85.66歳

がん年齢調整死亡率の減少(人口10万人当たりの年間死亡者数)

平成27年度

126.7

平成33年度

125.1

3 子どもを安心して産み育てる環境づくり

子育て世代包括支援センター(仮称)の施設数の増加

平成26年度

0か所

平成33年度

1か所

認可保育所定員数の増加

平成27年度末

1,895人

平成33年度末

1,955人

放課後児童クラブ定員数の増加

平成27年度末

790人

平成33年度末

850人

地域子育て支援拠点数の増加

平成26年度

2施設

平成33年度

3施設

4 高齢者福祉の充実

地域包括支援センター数の増加

平成26年度

1施設

平成33年度

5施設

シルバー人材センター会員数の増加

平成26年度

464人

平成33年度

552人

要介護認定率の増加の抑制(要介護者のみ)

平成26年度

18.8%

平成33年度

19.6%

認知症サポーター養成講座受講者数の増加

平成26年度

3,696人

平成33年度

6,000人

市民後見人養成講座受講者数の増加

平成26年度

70人

平成33年度

150人

5 障がい者福祉の充実

地域生活支援拠点数の増加

平成26年度

0か所

平成33年度

1か所

障がい児通所支援事業所数の増加

平成27年度

3か所

平成33年度

5か所

手話通訳奉仕員登録者数の増加(手話通訳士・者含む)

平成27年度

49人

平成33年度

84人

6 地域福祉の推進

「避難行動要支援者名簿」の提供を受ける地域の関係団体数の増加

平成27年度

44団体

平成33年度

70団体

まちづくりの大綱

施策大綱

	目標	現状値	目標値
--	----	-----	-----

Ⅲ 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち【教育文化部門】

1 学校教育の充実

「総合的な学習の時間」で学習したことが普段の生活や社会に出たときに役立つと思う子どもの割合の増加	(小6)	平成26年度	83.5%	平成33年度	90.0%
	(中3)	平成26年度	74.1%	平成33年度	80.0%
「総合的な学習の時間」において、自分で調べ学習活動に取り組んでいると思う子どもの割合の増加	(小6)	平成26年度	57.7%	平成33年度	65.0%
	(中3)	平成26年度	52.7%	平成33年度	60.0%
自分には良いところがあると思っている子どもの割合の増加	(小6)	平成26年度	79.1%	平成33年度	86.0%
	(中3)	平成26年度	73.9%	平成33年度	77.0%
人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている子どもの割合の増加	(小6)	平成26年度	90.4%	平成33年度	95.0%
	(中3)	平成26年度	97.0%	平成33年度	98.0%
学校給食での地域食材利用率の増加		平成26年度	58.2%	平成33年度	70.0%

2 家庭教育支援の推進

親学プログラムの実施回数の増加	平成26年度	11回	平成33年度	25回
-----------------	--------	-----	--------	-----

3 社会教育の推進

ふるさと郷育ネットワーク団体数の増加	平成26年度	3団体	平成33年度	9団体
学校支援活動に参加したボランティア人数の増加	平成26年度	7,528人	平成33年度	8,500人
地域課題の解決支援事業を実施する公民館数の増加	平成26年度	3公民館	平成33年度	26公民館
図書館利用登録率の増加	平成26年度	34.3%	平成33年度	40%
市民一人当たりの図書貸出冊数の増加	平成26年度	5.0冊	平成33年度	7.0冊

4 生涯スポーツの振興

総合スポーツ大会参加者の増加	平成26年度	2,623人	平成33年度	4,000人
トップアスリート教室の開催回数の増加	平成26年度	2回	平成33年度	4回
軽スポーツ教室の開催回数の増加	平成26年度	6回	平成33年度	12回

5 歴史・文化の伝承と創造

石炭文化ホール利用者数の増加	平成26年度	51,560人	平成33年度	55,000人
市内美術館における創作活動等の受講者数の増加	平成26年度	9,763人	平成33年度	10,000人
文化財の指定・登録件数の増加	平成26年度	66件	平成33年度	70件

まちづくりの大綱

施策大綱

目標

現状値

目標値

Ⅳ 自然環境を守り活かすまち【環境部門】

1 特性を活かした景観形成の推進

緑と花の沿道推進事業実施件数の増加	平成26年度	89件	平成33年度	124件
-------------------	--------	-----	--------	------

2 環境保全と快適な住環境づくりの推進

環境出前講座の開催回数の増加	平成26年度	0回	平成33年度	30回
----------------	--------	----	--------	-----

環境アダプトプログラム登録団体数の増加	平成26年度	29団体	平成33年度	35団体
---------------------	--------	------	--------	------

3 地球温暖化対策の推進

はまだエコライフ推進隊の会員数の増加	平成26年度	143会員	平成33年度	190会員
--------------------	--------	-------	--------	-------

4 循環型社会の構築

市民一人あたりのごみ排出量の減少	平成26年度	1,004g	平成33年度	967g
------------------	--------	--------	--------	------

ごみのリサイクル率の増加	平成26年度	23.7%	平成33年度	24.6%
--------------	--------	-------	--------	-------

Ⅴ 生活基盤が整った快適に暮らせるまち【生活基盤部門】

1 道路網の整備

浜田三隅道路の全線開通	平成26年度	一部 供用開始	平成33年度	平成28年度 供用開始
-------------	--------	------------	--------	----------------

三隅益田道路の全線開通	平成26年度	事業中	平成33年度	供用開始
-------------	--------	-----	--------	------

県道改良促進	平成26年度	14路線 (21工区)	平成33年度	7路線 (8工区)
--------	--------	----------------	--------	--------------

農道整備促進	平成26年度	69%	平成33年度	100%
--------	--------	-----	--------	------

林道整備促進	平成26年度	78%	平成33年度	90%
--------	--------	-----	--------	-----

市道浜田527号線道路改良	平成26年度	0%	平成33年度	100%
---------------	--------	----	--------	------

市道小国峠線道路改良	平成26年度	0%	平成33年度	50%
------------	--------	----	--------	-----

市道戸地線道路改良	平成26年度	10%	平成33年度	40%
-----------	--------	-----	--------	-----

市道谷線道路改良	平成26年度	0%	平成33年度	50%
----------	--------	----	--------	-----

市道白砂1号線道路改良	平成26年度	30%	平成33年度	50%
-------------	--------	-----	--------	-----

2 公共交通の充実

生活路線バス1便当たり利用者数の維持	平成26年度	2.0人／便	平成33年度	2.0人／便 以上
--------------------	--------	--------	--------	--------------

予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持	平成26年度	1.8人／便	平成33年度	1.8人／便 以上
-----------------------	--------	--------	--------	--------------

輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加	平成26年度	1団体	平成33年度	3団体
---------------------	--------	-----	--------	-----

環境整備を実施したバス停数の増加	平成26年度	3か所	平成33年度	6か所
------------------	--------	-----	--------	-----

3 地域情報化の推進

市民向けのG I S 情報提供	平成26年度	0	平成33年度	14
-----------------	--------	---	--------	----

各種システムのクラウドサービスへの切り替え	平成26年度	2件	平成33年度	7件
-----------------------	--------	----	--------	----

B C P (事業継続計画) の策定・運用	平成26年度	未策定	平成33年度	策定
-----------------------	--------	-----	--------	----

携帯電話不感地域の解消	平成26年度	8集落	平成33年度	0集落
-------------	--------	-----	--------	-----

5 快適な生活基盤の整備

管路の耐震化率の増加	平成25年度	10.5% (33,973m)	平成33年度	21.2% (70,000m)
------------	--------	--------------------	--------	--------------------

汚水処理人口普及率の増加	平成26年度	44.1%	平成33年度	51%
--------------	--------	-------	--------	-----

地籍調査実施済み面積の増加	平成26年度	266.89km ² (40.0%)	平成33年度	406.97km ² (61.0%)
---------------	--------	----------------------------------	--------	----------------------------------

まちづくりの大綱

施策大綱

	目標	現状値	目標値
--	----	-----	-----

Ⅶ 安全で安心して暮らせるまち【防災・防犯・消防部門】

1 災害に強いまちづくりの推進

屋外子局数の増加(浜田自治区)	平成26年度	33局	平成33年度	53局
防災防犯メール登録者数の増加	平成26年度	5,826人	平成33年度	10,000人
自主防災組織の組織率の増加	平成26年度	46.5%	平成33年度	85.0%
総合防災訓練参加者数の増加	平成26年度	600人	平成33年度	10,000人

2 地域防犯力の強化・交通安全対策の推進

防犯出前講座の開催回数の増加	平成26年度	6回	平成33年度	40回
----------------	--------	----	--------	-----

3 消防・救急体制の充実

救急救命士の資格取得者数の増加	平成26年度	32名	平成33年度	38名
応急手当の講習受講者数の増加	平成26年度	4,542人	平成33年度	5,000人
まちかど救急ステーション認定事業所数の増加	平成26年度	42事業所	平成33年度	180事業所
防火講話・消火訓練実施回数の増加	平成26年度	29回	平成33年度	50回

Ⅶ 協働による持続可能なまち【地域振興部門】

1 地域コミュニティの形成

地区まちづくり推進委員会の組織率の増加	平成26年度	66%	平成33年度	90%
人材育成研修会等の開催回数の増加	平成26年度	2回	平成33年度	6回
市民団体の補助事業申請件数の増加	平成26年度	7件	平成33年度	15件

2 人がつながる定住環境づくりの推進

U・Iターン者数の増加	平成26年度	34人	平成33年度	50人
U・Iターン者との意見交換会の開催回数の増加	平成26年度	1回	平成33年度	3回
U・Iターン相談件数の増加	平成26年度	255人	平成33年度	300人
空き家バンク登録件数の増加	平成26年度	13件	平成33年度	20件
婚活イベント参加者数の増加	平成26年度	162人	平成33年度	200人

3 大学等高等教育機関と連携した地域づくり

市民交流促進事業実施件数の増加	平成26年度	6件	平成33年度	50件
県立大学との共同研究実施件数の増加	平成26年度	4件	平成33年度	24件
新入生浜田探索ツアー参加者数の増加	平成26年度	38人	平成33年度	1,000人

4 人権を尊重するまちづくりの推進

人権研修会等の開催回数の増加	平成26年度	42回	平成33年度	64回
----------------	--------	-----	--------	-----

5 男女共同参画社会の推進

審議会等への女性参画率の増加	平成26年度	25.2%	平成33年度	40.0%
----------------	--------	-------	--------	-------

第4節 自治区別計画 ～地域の個性を活かしたまちづくり～

自治区						
	目標		現状値		目標値	
1 浜田自治区						
地区まちづくり推進委員会の組織率の向上		平成26年度	42.6%	平成33年度	85%	
自主防災組織の組織率の向上		平成26年度	43.3%	平成33年度	85%	
2 金城自治区						
認定農業者数の増加		平成26年度	16経営体	平成33年度	18経営体	
水田面積の維持保全		平成26年度	539ha	平成33年度	485ha	
宿泊客数の増加		平成26年度	22,000人	平成33年度	26,000人	
まちづくり連絡会活動回数の増加		平成26年度	1回／年	平成33年度	2回／年	
地域活動団体と連携した活動回数の増加		平成26年度	0回／年	平成33年度	5回／年	
3 旭自治区						
守るべき農地面積の維持保全		平成26年度	487ha	平成33年度	357ha	
旭豊米(地域棚田米)の販売拡大		平成26年度	0ha	平成33年度	8.3ha	
宿泊客数の増加		平成26年度	19,353人	平成33年度	25,000人	
まちづくり推進委員会等連携会議の開催回数の増加		平成26年度	1回	平成33年度	3回	
未利用施設の有効活用数の増加		平成26年度	1施設	平成33年度	4施設	
4 弥栄自治区						
認定農業者の増加		平成26年度	12人	平成33年度	15人	
特定農業法人の増加		平成26年度	3組織	平成33年度	5組織	
弥栄米取り扱い面積の増加		平成26年度	0ha	平成33年度	100ha	
入込客数の増加		平成26年度	26,037人	平成33年度	30,000人	
宿泊客数の増加		平成26年度	2,468人	平成33年度	3,000人	
U・Iターン世帯の増加		平成26年度	14世帯	平成33年度	44世帯	
自主的な防災活動に取り組む自治会数の増加		平成26年度	3自治会／ 26自治会	平成33年度	26自治会／ 26自治会	
5 三隅自治区						
営農組織数の増加		平成26年度	1法人4団体	平成33年度	1法人6団体	
西条柿生産戸数の維持		平成26年度	47戸	平成33年度	47戸	
石州和紙製造戸数の増加		平成26年度	4戸	平成33年度	5戸	
楮新規植栽面積の増加		平成26年度	0.3ha	平成33年度	1.6ha	
地区まちづくり計画の全地区での策定		平成26年度	4地区／ 6地区	平成33年度	6地区／ 6地区	
地区まちづくり推進委員会防災訓練の実施		平成26年度	0回／年	平成33年度	1回／年	
従事者の宿舎の確保		平成26年度	0件	平成33年度	20件	
従事者用宿舎の運営に取り組む地域や団体の増加		平成26年度	0地域・団体	平成33年度	3地域・団体	

第5節 開かれた行財政運営の推進

目標	現状値		目標値	
健全な実質公債費比率の確保	平成26年度	12.0%	平成33年度	18.0%未満
外部委員による総合振興計画の進捗状況の確認・評価回数の増加	平成26年度	0回	平成33年度	1回

資料7 元気な浜田づくり市民委員会開催結果報告書

第2次総合振興計画の策定にあたり、多くの市民の皆さんのご意見を反映するため、平成27年5月12日(火)・16日(土)の2回にわたり、「元気な浜田づくり市民委員会」(通称「100人委員会」)を開催し、参加者の皆さんが6分野(14グループ)に分かれて意見交換を行いました。

これらのご意見は、第2次総合振興計画の「基本構想」における7つの「まちづくりの大綱」の骨子としてまとめ、主要施策にもできるかぎり反映しています。



〔開催結果〕

※運営は(株)シマネプロモーションに委託

第1回

日 時	平成27年5月12日(火) 午後7時～午後9時(2時間)		
会 場	浜田市役所(4階講堂)	参加者	98名
内 容	①趣旨・日程説明 ②浜田市概況データ説明 ③ワークショップ テーマ「こんな浜田に住みたい」 ⇒626の意見(付箋紙)が出される。		

意見のまとめ、分析

- ・626の意見を集約して振り分け、共通キーワードを抽出
【共通キーワード】 **「永く続く・残る浜田」**
- ・実現のために必要な「3つの基本方針」を整理
【3つの基本方針】 ■ **地域の独自性(浜田らしさ)があるか**
■ **実現可能性・持続性があるか**
■ **自分や人が動くか(共感性があるか)**

第2回

日 時	平成27年5月16日(土) 午後1時～午後5時(4時間)		
会 場	浜田市役所(4階講堂)	参加者	82名
内 容	①第1回のふりかえり ②ワークショップ ワーク1:「住みたい浜田」実現のために、「必要なこと、取り組むべきこと」を話し合う ワーク2:ワーク1の意見から、「3つの基本方針」を満たす実現性のあるものを選定 ③全体共有(発表)		



成果報告会

日 時	平成27年10月9日(金) 午後7時～午後8時40分		
会 場	浜田市役所(4階講堂)	参加者	45名
内 容	①100人委員会のまとめ報告 ②「第2次浜田市総合振興計画(案)」説明 ③「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」説明 ④意見交換・質疑応答		



意見のまとめは次ページ以降

① 健康福祉

※太枠内が元気な浜田づくり市民委員会で出された意見

区分	小テーマ	施策や取組	意見反映	掲載ページ
医療	医療環境の整備	来てくれる医師が魅力を感じるまちづくり	○	P46
		海や山・温泉など浜田暮らしに魅力を感じる医師の誘致	○	P47-①
	地域医療のしくみづくり	夜勤・医療従事者への配慮・感謝		
		かかりつけ医や在宅医療の推進	◎	P48-④
健康づくり	健康に良い食生活の推進	母親の食育	○	P50-①、P53-①
		豊富な海山川の幸を生かして食文化をPR	○	P32-②、P50-①、P51-③
		オーガニック・有機の推進	◎	P27-①
		浜田の食についての勉強会実施	○	P50-①、P51-③
	健康づくりの推進	健康運動の推進者の育成	○	P51-③、P74-①
		健康を作る習慣の啓発や仕組みづくり	○	P51-③
子ども	妊産婦のサポートケア	職場の理解		
		助産師や保健師の訪問サポート	○	P53-①
		先輩お母さんとの交流	○	P53-①、P54-③
		安心してお産できる病院	○	P53-①
	保育環境の整備	保育事業と高齢者福祉のドッキング		
		保育士不足の解消	○	P53-②
		発達段階に応じた見逃さない検診	○	P53-①
		保育士の充実	○	P53-②
	子育て世帯が住みたくなる環境の整備	近所付き合いの活性化	○	P54-③、P62-①
		保育士の増員や夜間保育推進	○	P53-②
		アレルギーやアトピー対策と良好な環境アピール	○	P54-③
		短時間でも働ける場所づくり		
高齢者	介護サービスの充実	住民によるふれあいサロン	○	P62-①
		お金のかからない介護方法の検討		
		介護の必要な人の把握	○	P62-③
障がい者	介護サービスの充実	住民によるふれあいサロン	○	P62-①
		お金のかからない介護方法の検討		
		介護の必要な人の把握	○	P62-③
	障害者福祉の充実	障害についての理解促進	◎	P60-③
		心のケア	○	P51-④、P59-①
		バリアフリーの促進	◎	P60-③
地域福祉	まちづくりと健康づくりを掛け合わせた施策の開発	花のまちづくり	○	P81-②
		趣味の場や交流の場づくり	○	P62-①

【計画への意見反映】 「◎」…意見を反映している 「○」…意見の趣旨を反映している

② 教育文化

※太枠内が元気な浜田づくり市民委員会が出された意見

区分	小テーマ	施策や取組	意見 反映	掲載ページ
生涯学習	使ってもらえる図書館づくり	公民館など多くの場所で返却可能	○	P72-3
		本だけでなく人材も貸し出す図書館	○	P72-3
		市民による企画がしやすい環境づくり	○	P72-3
		利用時間再考	○	P72-3
	浜田らしい教育のあり方の 検討と実践	ふるさと教育	◎	P70-1
		市民性の教育	○	P70-1、P71-2
	食育の推進	給食や家庭への地元食材の利用	◎	P27-1、P66-3
		オーガニックの推進	○	P27-1
学校教育	食育の推進	地元産品を知る機会づくり	○	P27-1、P66-3
		給食や家庭への地元食材の利用	◎	P27-1、P66-3
		オーガニックの推進	○	P27-1
	浜田らしい教育のあり方の 検討と実践	地元産品を知る機会づくり	○	P27-1、P66-3
		親学のすすめ	◎	P68-1
		キャリア教育推進	◎	P33-3、P65-1
	国際交流の推進	学力向上	◎	P65-1
		海外の人が交流しやすい情報発信や 場所整備	○	P40-4
スポーツ	スポーツ振興	ホームステイ受け入れ		
		プロによる教室開催	◎	P75-2
		地域対抗の大会	○	P74-1
		社会体育と学校体育の住み分けと促進	○	P75-3
歴史・文化	日常的に文化歴史に触れる 環境づくり	生涯スポーツ導入	○	P75-3
		語り部の育成		
		ふるさと郷土資料の保存活用	○	P78-3
		世界こども美術館でワークショップ など有効活用	◎	P77-1
	伝統文化を今に残る形で発展	地域の博士が出前講座		
		石見神楽拠点施設の整備と民間での 運用	◎	P38-1、P78-4、 P100-2
		和紙文化の継承と新しいコラボ	○	P32-2、P77-2、 P143-1
	文化活動の推進、浜田らしい 文化創造	伝統文化に触れる日作り	○	P77-2
		和紙を利用した創作活動	○	P77-1、P143-1
		子供のときから文化体験	○	P77-1②
	国際交流の推進	本物を見る、本物から学べる機会作り	◎	P77-1
		神楽の海外公演	○	P40-4
		参加型祭の創造	○	P77-1
		参加したくなる祭・文化活 動の推進	文化系の活動作り	○
公民館単位で地域の活動を開催	○		P118-2	
文化講演会の開催頻度の増加	○		P77-1	
子ども教育	子供が遊ぶ環境の整備	山や海をできるだけ自然に近い形で 遊び場化		
		ボランティア協力	○	P68-2
		校庭・園庭のリデザイン		
		自ら考えて遊ぶきっかけ作り	○	P68-1
		子供の遊びについての理解の場作り	○	P68-1
	海・里山を生かした学び場 作り	中高にふるさと部活をつくる		
		田舎ツーリズムとの協力	○	P134-2、P140-2
	地域の生活体験	○	P68-2、P70-1	

【計画への意見反映】

「◎」…意見を反映している

「○」…意見の趣旨を反映している

③ 環境

※太枠内が元気な浜田づくり市民委員会が出された意見

区分	小テーマ	施策や取組	意見反映	掲載ページ
景 観	市民による美化活動の推進	草刈り、掃除を町内で行う	○	P84-③
		市民が行政に頼らず自ら行う	○	P84-③
		ペットの正しい散歩の仕方啓発	○	P84-④
		市民と行政が共同で清掃を行う活動(アダプトプログラム)の推進	◎	P84-③
	景観維持のための活動の推進	植樹、植林、植栽活動の推進	◎	P29-④、P81-③
		ゴミ箱を景観に馴染むデザインに		
		空き家を壊す	○	P81-②、P103-③
		美しい風景を写真に残しストックする活動		
人づくり等	資源(山・海)の活用	倒木の処理や散歩道の整備を行う	○	P81-③
		定期的に町内で清掃	○	P84-③
	環境学習の推進	海岸の漂着物の資源化	○	P87
		農業漁業体験学習実施	○	P83-①
		エコツーリズムの推進	○	P39-③、P83-①
温暖化対策	環境保全	鳥獣害被害対策	◎	P28-②
		合成洗剤をせっけんに切り替え	○	P83-①
		不要な開発を行わない	○	P81-①
		地球温暖化対策	◎	P85
	エネルギーの自給率アップ	資源エネルギーの活用などエネルギー対策の検討	○	P86-①
	エコなライフスタイル推進	公共交通の利用	○	P86-②、P95-③
		歩道、自転車道の整備による車を使わない工夫		
		再利用の仕方の再検討	○	P88-①
		サマータイム導入		
循環型社会	ゴミの分別や資源化	トレー、容器を少なくする売り方の検討	○	P88-①
		ゴミの分別の見直し	○	P88-②
		ゴミが出ないような仕組みづくり	○	P88-①
		ペットプラの現金化やし尿の肥料化などゴミの資源化	○	P87

【計画への意見反映】

「◎」…意見を反映している

「○」…意見の趣旨を反映している

④ 産業経済

※太枠内が元気な浜田づくり市民委員会が出された意見

区分	小テーマ	施策や取組	意見反映	掲載ページ
農 林 水 産 業	時代に合わせた消費・暮らしの見直し	定期的に山と海で物々交換		
		地元企業の商品の消費	○	P27-①、P32-②
		地産地消	◎	P27-①、P32-②
		生産者と消費者の交流	○	P27-①
		不必要なものは買わないなどの暮らしへの意識啓発	○	P86-②
	特徴ある農林業の推進	製品のブランド化	◎	P27-①
		生産者が売れる作物をチェックできる仕組み	○	P27-①
		規格にとらわれない販売方法の検討	○	P27-①、P32-②
		オーガニックの推進	○	P27-①
		農産物の物流の簡素化、集約化		
		高額商品の開発	○	P27-①
		農業再生のための専門家の雇用	○	P33-③
		農業の工業化		
	勝てる漁業の推進	水産高校卒業生のレベルアップと活躍の場の用意	○	P23-②
		水産加工一次処理場の共同化	◎	P24-③
		セリの方法の見直し (ふところ競り→競り上がり)		
		ふるさと納税商品の周知	○	P24-④、P148-①
		どんちっち3品以外のブランド化	○	P24-④
	食料自給率アップ	耕作地の貸し出し		
		家庭ミニ菜園の推進		
		地産地消推進	◎	P27-①
	今の浜田を維持するための施策展開	無駄な買い物や残飯を出さない意識啓発	○	P86-②、P88-①
		自然環境を守るために田畑を守り続ける(戦略的保存方法の検討)	○	P28-②、P81-③
商 工 業	浜田の外食行動の魅力化	ゆうひパークの活用		
		地ビールなど地モノの開発販売	○	P32-②
		酒蔵など遊休地を活用したブルワリー、飲食店づくり	○	P32-②
		作業着などでも入りやすいお店造り		
		移動手段を便利に (車があるとお酒がのめない)	○	P94-①、P95-③
		学生の居場所になる食堂		
	生き残る魅力ある商店街づくり	駅前再開発	○	P32-②、P100-①
		シャッターをデザイン		
		後継、継業支援	◎	P33-④
		商店街の集約	○	P32-②
	今の浜田を維持するための施策展開	地元の商店街に人が集まる場を作る		
	地場産業を活かしたイベント開催	全国干物祭り、赤天にあうビール大会、のどぐろだけ大会などキーとなる商品にフォーカスした祭り開催	○	P39-③
		里の駅を設置	○	P39-②
		旬の魚を食べる会、店を展開	○	P24-④、P32-②、P38-①

【計画への意見反映】

「◎」…意見を反映している

「○」…意見の趣旨を反映している

④ 産業経済（続き）

※太枠内が元気な浜田づくり市民委員会が出された意見

区分	小テーマ	施策や取組	意見反映	掲載ページ
観光・交流	浜田を活かした観光商品の開発と充実	温泉街の再興	◎	P39-②、P134-②、P137-②
		観光や広告の専門家の登用	○	P33-③
		萩や松江まで含んだ観光ルート開発	○	P151-⑤
		農林水産など産業をコンテンツとした観光ツアー開発	○	P39-③
		売れる神楽グッズの開発	○	P38-①
		産品（魚、果物、野菜）を使った干物を増やす	○	P31-①、P32-②
		大都市に浜田のアンテナショップをつくる		
	滞在型観光の促進	温泉地に湯治場の機能を持たせた療養ツーリズム		
		ロハス、オーガニックツーリズム	○	P39-②③
		第二の故郷体験	○	P39-③
		観光業従事者のスキルアップ	○	P39-②
		サーフィンの活性化	○	P39-③、P74-①
	国際交流の推進	海外の人が交流しやすい情報発信や場所整備	○	P40-④
		ホームステイ受け入れ	○	P40-④
		神楽の海外公演	○	P40-④
	交流人口の拡大	浜田や暮らしの魅力を体験できる観光づくり	○	P39-③
企業誘致等	地域における働き方自体の見直し	介護職の資格取得支援		
		副業の推進		
		事業継承の支援	◎	P33-④
		フレックスや時短など多様な働き方の推進		
		雇用を作れる（＝事業拡大できる）スキルを持った人材誘致		
	企業・店舗の誘致と地元企業の拡大支援	遊休施設の情報集約と発信	○	P32-②、P121-③
		綺麗な空気や水をアピールしそれに反応する企業店舗を集める		
	起業の促進と支援	設備の現物貸与		
		金融機関と行政の連携支援	○	P33-④
		起業したい人の集える場づくり	○	P33-④
		低金利や補助事業の充実	○	P33-④
		商工会議所、商工会、県と連携	○	P33-④
		チャレンジショップなど挑戦できる場づくり	○	P33-④
		専門家によるコンサルティング	○	P33-③

【計画への意見反映】

「◎」…意見を反映している

「○」…意見の趣旨を反映している

⑤ 建設

※太枠内が元気な浜田づくり市民委員会が出された意見

区分	小テーマ	施策や取組	意見反映	掲載ページ
公 共 交 通	交通行動の見直し	自転車専用道の整備や自転車の乗り方指導	○	P110-②
		高齢者の移動手段確保	◎	P95-②③
		市内平地への都市機能の再集積	○	P99
都 市 基 盤	市民主体のインフラ管理	管理する場としない場の線引きを実施	○	P99、P150-②
		市道については集落で管理		
		市民参加の意識改革	○	P150-②
	バリアフリーの推進	どこに問題があるかを調査		
		山手居住者をフラットな市内へ転居		
		歩道の整備	○	P92-④
	社会や地域状況に見合った都市計画	救急車がすれ違える道整備	○	P91-②、P92-④
		人口減を前提としたインフラ整備	○	P150-②
		立地不利な地域には商店が出向いて販売などこれからの買い物行動やサービスの再検討		
		土地の歴史や集積を勘案した都市機能の選択と集中	○	P99
	景観を意識した都市整備	草刈り単価のアップや、山羊活用など新しい施策の検討		
		景観維持活動の効率化	○	P81-②
		残す場と手を入れる場の線引きをはっきり行う	○	P99、P150-②
		公共施設の外観への配慮と管理(公共トイレの整備など)	○	P80
生 活 基 盤	使いたくなる場づくり(ハード・ソフト)	親水公園づくり		
		趣味を教えられる人材を把握	○	P71-②
		人があつまれる場づくり	○	P99
		新しいハードより既存のハードの活用を検討	○	P99

【計画への意見反映】 [◎]…意見を反映している [○]…意見の趣旨を反映している

⑥ 防災防犯

※太枠内が元気な浜田づくり市民委員会が出された意見

区分	小テーマ	施策や取組	意見反映	掲載ページ
防 災 ・ 減 災	災害対応力の向上	近隣の人を知る活動	○	P62-③、P107-②、P118-②
		祭りのような楽しい防災訓練	○	P108-③、P132-③
		ハザードマップをわかりやすく	◎	P107-①
		有事発生時の仮住居の確保		
防 犯	治安維持力の向上	防犯灯設置の推進	○	P110-①、P118-②
		通学通園時の見守りボランティアやパトロール強化	○	P110-①②
		特殊詐欺防止のための活動	○	P110-①

【計画への意見反映】 [◎]…意見を反映している [○]…意見の趣旨を反映している

⑦ 地域振興

※太枠内が元気な浜田づくり市民委員会が出された意見

区分	小テーマ	施策や取組	意見反映	掲載ページ
コミュニティ	特色ある自治会活動の推進	市の職員が担当地域を持つ	◎	P135-③、P138-③、P144-②
		補助金ありきでなくプランに補助金をつける	○	P118-②
		市や公民館職員が一緒になって地域課題やプランを話し合う場作り	○	P71-②、P117-①、P118-②
	サークル、クラブ、コミュニティ活動の活性化	市民活動を支援する組織の設立	○	P117-①、P118-③
		どんな活動があるか知れる方法づくり	○	P117-①、P118-②
		働いている人向けに夜間の活動を計画		
		活動の事務処理などサポートができる人を用意	○	P117-①、P118-②
		活動できる場の見える化	○	P117-①、P118-②
		働くママサポートなど男女共同参画推進の活動	○	P54-③、P128-①
	既存の集い場の整理と活用	公民館など既存施設の活用方法提案や周知によるメジャー化	○	P71-②、P99、P118-②
		利用時間の長時間化		
開かれたまち	未利用資源(廃校、空き家など)の活用	未利用資源の図面、設備、立地、利用条件を一覧に		
		地域で活用方法を検討	○	P118-②、P121-③
		他県からの移住者を誘致	○	P120-①、P121-③
	市民のまちづくりや政策決定への参画	100人委員会始め、行政と市民がフランクに話せる場づくり	○	P151-④
		地元の人もコーディネーターや協力隊として採用	○	P120-①
	多世代同居の推進	血縁者以外もあつまるシェアハウスを運営する団体をつくる	○	P121-③、P124-③
		血縁のみでなく共同生活者としての新しい家族形態とその住まい方の模索	○	P120-①
	移住者が地域に溶け込むサポート	移住者に田舎を理解してもらう場作り	○	P120-①
		Iターン者と地元のコミュニケーションの機会づくり	○	P120-①
		使えるスペースや資源、活動などを移住者へ周知	○	P120-①
		1ヶ月移住体験など長期間の移住体験による定着率向上	○	P120-①
	魅力的な浜田暮らしの提案と発信	移住者がどこに魅力を感じているのかを知る場をつくる	○	P120-①
		Iターンしている人たちの暮らしをPR	○	P120-②
	定住支援のあり方の再検討	企業に支援し定住者が豊かになる仕組みをつくる	○	P120-①
		移住者が相談できる場づくり	○	P120-①
	空き家・空き店舗の活用	空き家・空き店舗を減らすための税的措置		
		空き家・空き店舗の把握と情報公開	○	P121-③
		空き家の家主がゆずりやすい仕組み	○	P121-③

【計画への意見反映】

「◎」…意見を反映している

「○」…意見の趣旨を反映している

資料 8 中・高校生の地域や将来意識に関するアンケート調査結果報告書(抜粋)

中・高校生の 地域や将来意識に関するアンケート 調査結果報告書(抜粋)

調査対象者	☐ 浜田市内に立地する中学校3年生、 高校3年生全員 ☐ 浜田市外の高校に通う高校3年生
回答者数	919サンプル
実査時期	2015年7月8日～7月17日
調査方法	用紙記入によるアンケート調査
設問数	18問(うち自由回答2問)
調査実施機関	株式会社シネマプロモーション

分析項目

1. 愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて
2. 浜田への居住・勤務意向
3. 地域活動への参加意向
4. 将来の目標や進路について
5. 基本属性・生活意識について

まとめ

1. 愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

浜田が好き、浜田を良くしたり元気にしたいといった愛着や地域貢献意識を持つ学生は約7割存在する。また、浜田を好きと回答した人は、浜田で働きたい・外に出てもいつか戻って働きたいという意向が、好きではないと回答した人に比べて高いことから、地域のことを知り、愛着を持ってもらう教育をすることで将来的な居住意向を育てることができる可能性がある。

浜田の嫌いなところとして、「遊べる場所が少ない」「不便」という声が全体的に多く上がっている。

都会の商業集積や利便性を追うのではなく、田舎ならではの遊び方を啓発することに加え、都会ではできない遊び場を検討することで、ここでしかできない遊びの提要による地域の愛着育成につなげることができる可能性がある。

2. 浜田への居住・勤務意向

浜田で働きたい・外に出てもいつか戻って働きたいと全体の約4割が回答している。1.の項目で、愛着と将来的な居住意向には関連があることから、地域をもっと知る、愛着を育てるための機会提供は、将来的な居住者増には有効であると言える。

浜田で働きたくない人は働きたい人に比べ、遊べる場の少なさや不便さといった点に、より強い不満点を持っている。都会と同じ利便性を追求した街づくりは現実的に難しいため、彼らが一度外に出ても戻ってきたいと思えるだけの地域との関わりや愛着、地域貢献意識を育成する機会提供は、長期的視点に立つと有効であると考えられる。また、居住したくない理由として、「魅力ある仕事がない・または知らない」「若い人がいない」「働く場所がない」といった記述が多く見られた。

地域で仕事を自ら作るというマインド作りや、地域にどんな人がいるか・どんな仕事があるかを知ってもらう場作りは、居住意向を育てるためには有効である可能性が高い。

3. 地域活動への参加意向

参加しても良いと思う地域活動は、「クラブ活動やサークル活動」「スポーツやレクリエーション」「子供の集まるイベントなどのボランティア活動」といったものが上位に上がっている。一方で、「高齢者や障がい者に対するボランティア」「防災」「清掃・リサイクル」「伝統文化の保存」といった、社会や地域課題を解決するための活動への参加意向はさほど高くない。このことから、自らが当事者として楽しみながら参加できる地域活動には参加したいが、いわゆる地域貢献を主題とした活動へは積極的に参加したくないという意向が読み取れる。

地域課題を解決することを主題とした活動ではなく、自らが楽しみながら参加でき、それが地域課題の解決につながるような、地域活動の内容を検討する必要がある。

4. 将来の目標や進路について

高校生の約5割、中学生の約3.5割が、やりたいことを具体的に持っていると回答している。やりたいことがある人のほうが、浜田への愛着や貢献意識を強く持っている傾向にあるため、将来のやりたいことを考えることは、地域への愛着を高めるためにも有効であると考えられる。

キャリア教育と、地域を知る教育を統合させて考えることも大切になってくる。

また、将来の選択にあたって気がかりなことは、「特にない」が最も多く、「自分にあっているものかわからない」「社会に出て行く能力があるか自信がない」という項目が続く。

多様な職業の人の話を聞くとといった選択肢の幅を見せることも大切だが、やりたいことを見つける方法や、夢を実現するために大切な力といった内容もレクチャーするような機会が望まれる。

5. 基本属性・生活意識について

※調査結果(P180-182)参照

1. 愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

●70%の人が浜田を好き(「好き」「どちらかというとき好き」)

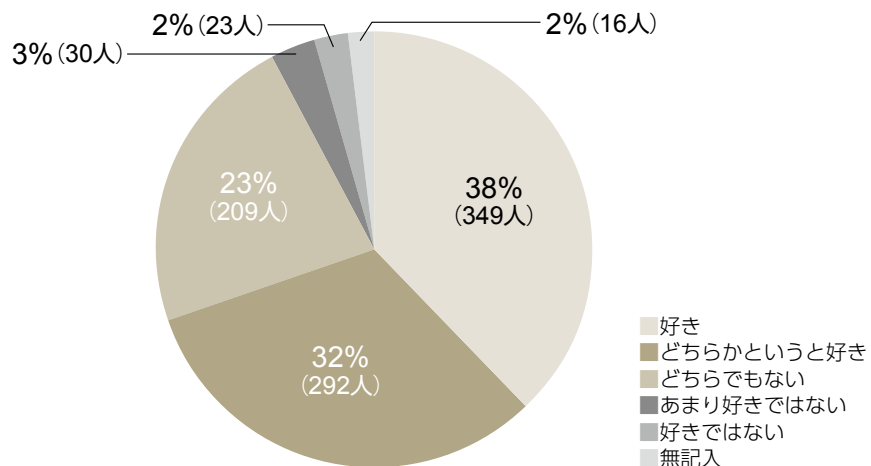
ついでどちらでもないが23%存在し、好きではない、あまり好きではないは6%にとどまった。

●73%が浜田を良くしたり元気にしたい

「そう思う」36%、「どちらかというときそう思う」37%と、7割超の学生が地元貢献意識を持っている。「あまりそうは思わない」「そうは思わない」と回答した人は6%にとどまっている。

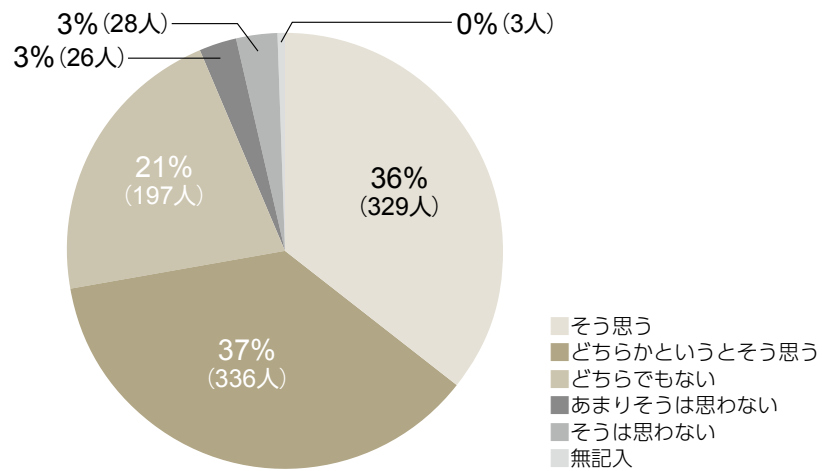
Q1 あなたは浜田市が好きですか。

【回答919人】



Q5 あなたは浜田市を良くしたり、元気にしたいと思いますか。

【回答919人】



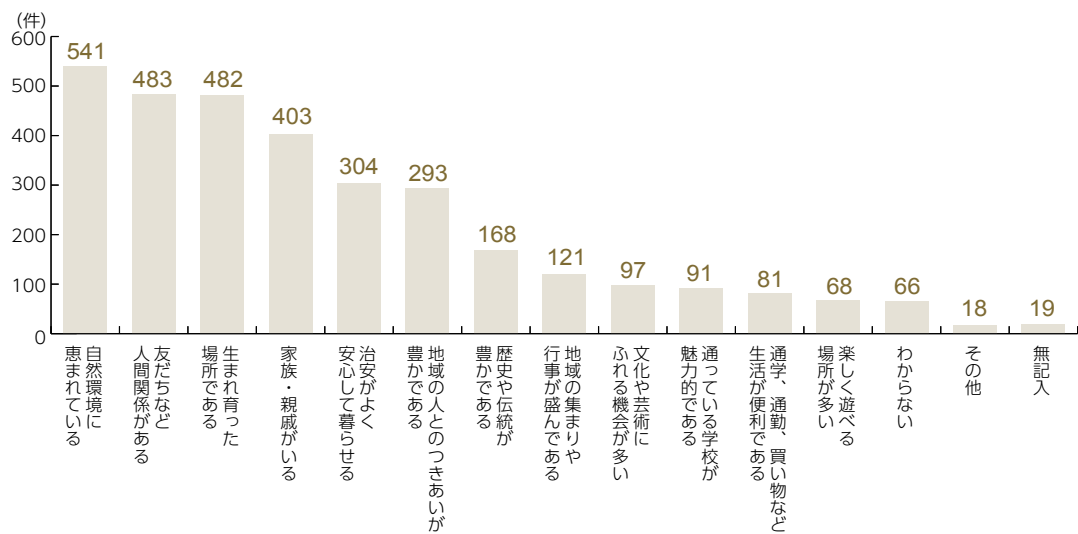
● 浜田の好きなところは「自然環境」「人間関係」「生まれ育った場所」

● 浜田の嫌いなところは「遊べる場所が少ない」「不便」

生まれ育ったならでは縁と、豊かな自然環境魅力を感じている一方、田舎の逆の要素である遊ぶ場所や利便性が、嫌いなところの上位に上がっている。

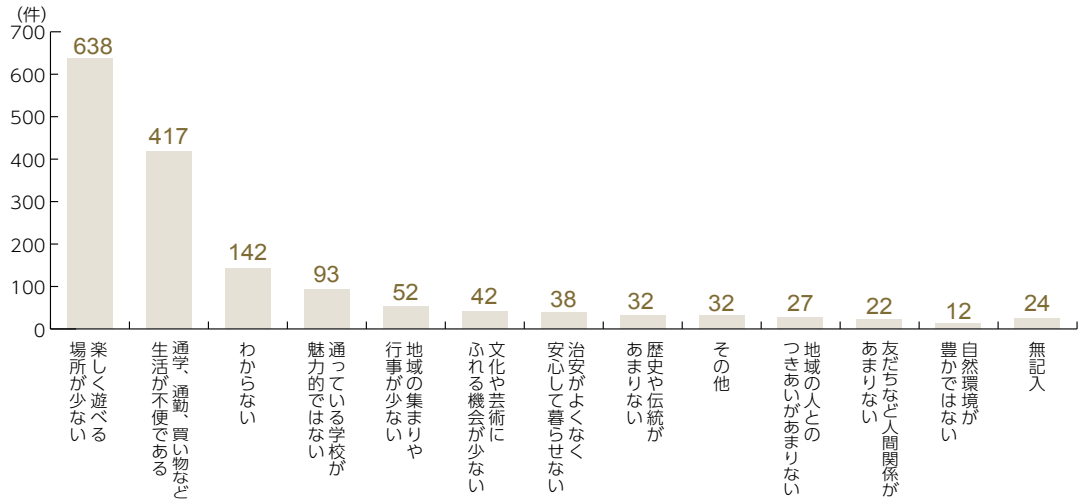
Q2 浜田市の好きなところはどこですか。

【回答3,235件(複数回答あり)】



Q3 浜田市の嫌いなところはどこですか。

【回答1,571件(複数回答あり)】



● 浜田を好きと答えた人の84%が「浜田を良くしたり元気にしたい」。

逆に浜田を好きでない人のそれは30%にとどまっていることから、将来的な地域貢献意識を育てるためには浜田のことをもっと知り、好きになってもらうための教育が必要。

● 浜田を好きと回答した人の53%がゆくゆくは浜田で働きたい。

地域への愛着と、地域への将来的な居住意向には関連がある。浜田に帰ってきてもらうためにも、浜田を好きな子供たちをどのように育てるかを検討する必要がある。

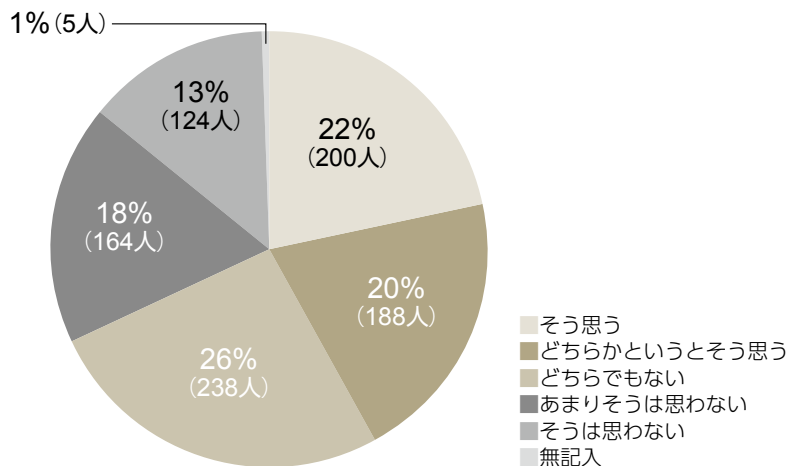
2. 浜田への居住・勤務意向

● 42%が浜田で働きたい、あるいはいつか帰って働きたい。

「どちらでもない」と回答した人が26%存在している。「あまりそうは思わない」「そうは思わない」は31%であった。

Q6 あなたは浜田市で働きたい、または外に出てもいつか戻って浜田市で働きたいと思いますか。

【回答919人】



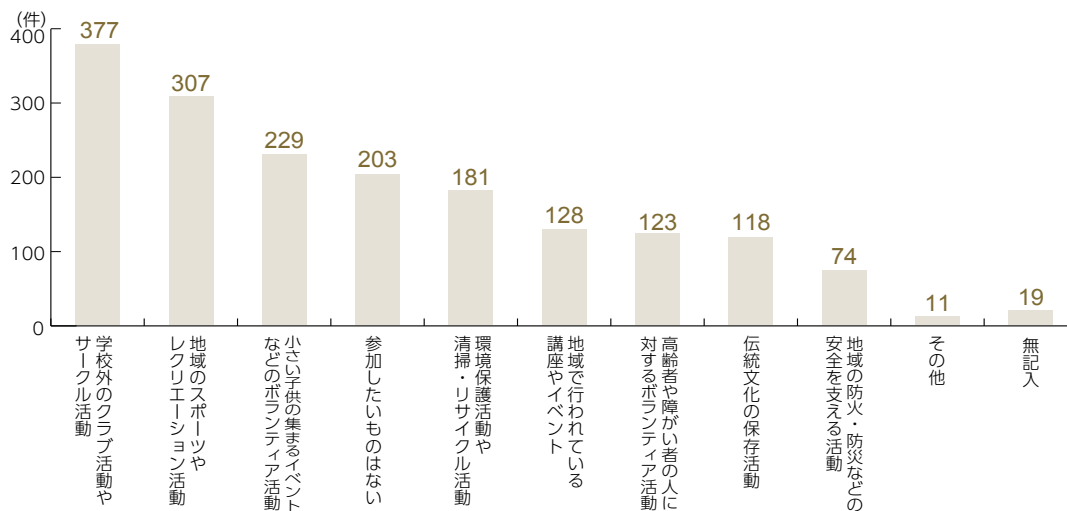
3. 地域活動への参加意向

- 「クラブ活動やサークル活動」「スポーツやレクリエーション活動」という、自分が参加でき楽しめる活動の人気の高い。

「伝統文化の保存活動」や「防災安全活動」といった浜田を守る活動の人気の低いことから、こういった活動のなかにも参加性やエンタテインメント性を組み込むなどの工夫が必要。

Q8 あなたは、地域の活動で参加してもよいと思うものがありますか。

【回答1,770件(複数回答あり)】



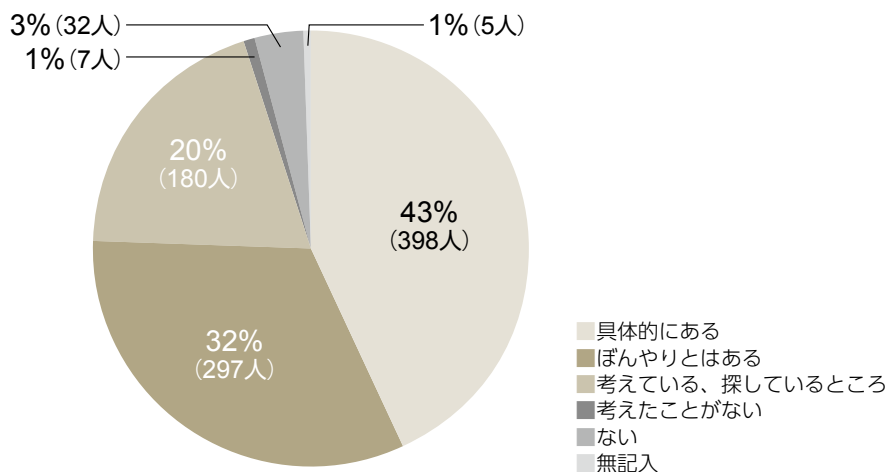
4. 将来の目標や進路について

- 将来やりたいことが「具体的にある」が43%、「ぼんやりとある」が32%。

加えて、「今探している」が20%と続いている。中学3年生、高校3年生という進路を決めるタイミングにいる学生が調査対象であることから比較的高い数値が出たと予想される。

Q9 あなたは将来の夢や目標、やりたいことがありますか。

【回答919人】



●多くが「好きなことや関心のある仕事」「自分に合う仕事」に就きたい。

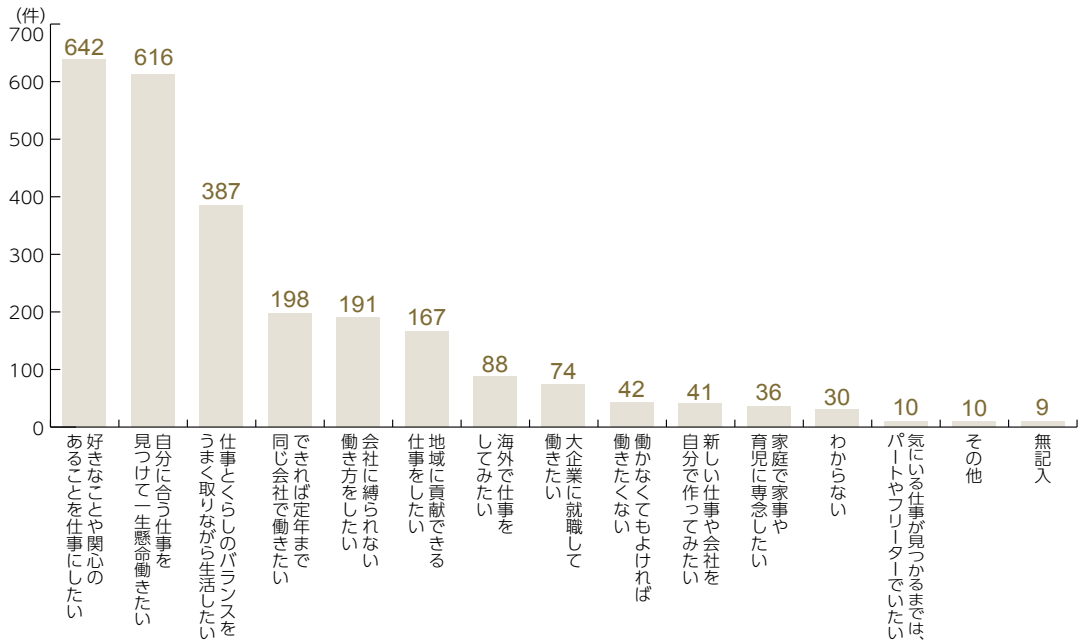
好きなこと、関心のある仕事の探し方や、そのためにはどのような適性が必要かといった項目を補えるキャリア教育が求められる。

●将来の選択に対して気がかりなことは「特にない」に次いで「能力があるか」「自分に合っているものがわからない」が続く。

また「やりたいことへの情報が不足している」「やりたいことが見つからない、わからない」といった項目がさらに続く。

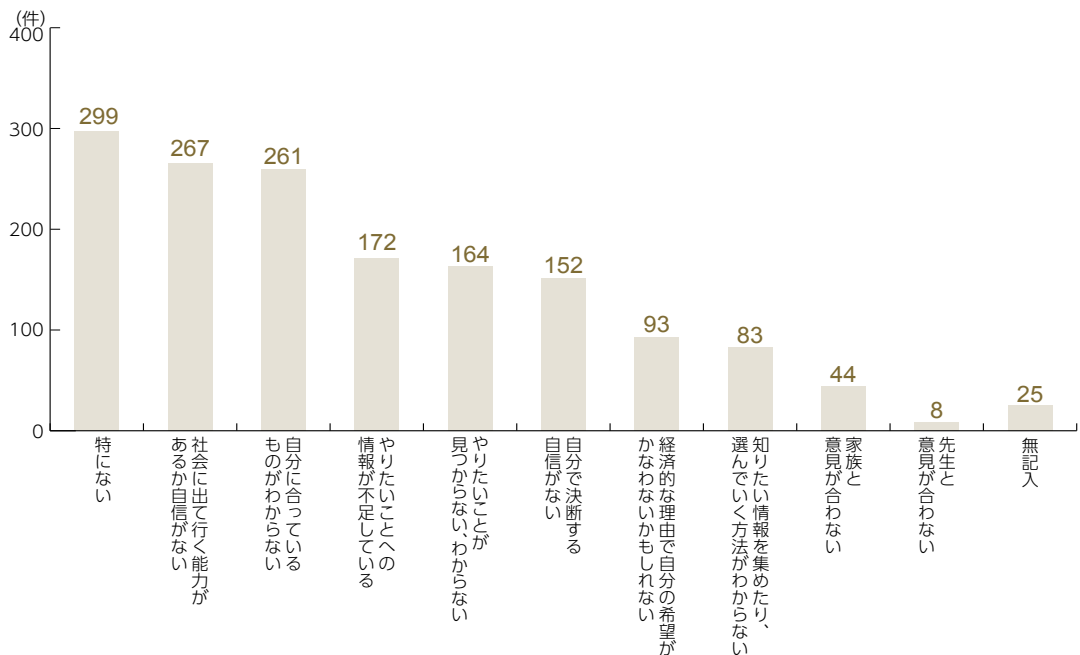
Q11 あなたは将来、どのような働き方をしたいですか。

【回答2,541件(複数回答あり)】



Q12 あなたは将来の選択に対して気がかりなことはありますか。

【回答1,568件(複数回答あり)】

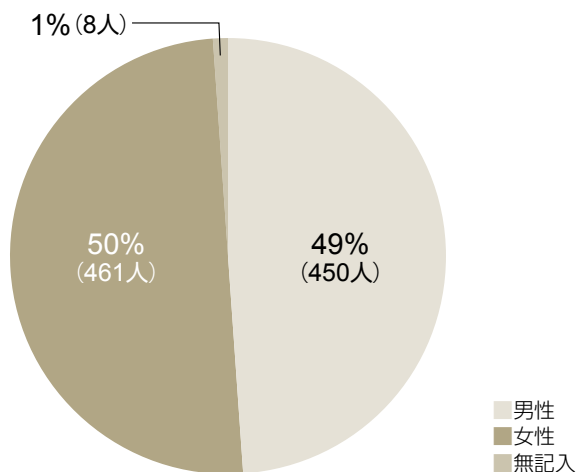


5. 基本属性・生活意識について

- 性 別 男性49%、女性50%
- 学 校 市内の中学46% (n=427)、市内の高校34% (n=310)、市外の高校17% (n=159)
- 地区別 浜田69%、金城9%、旭4%、弥栄3%、三隅9%、浜田市外5%

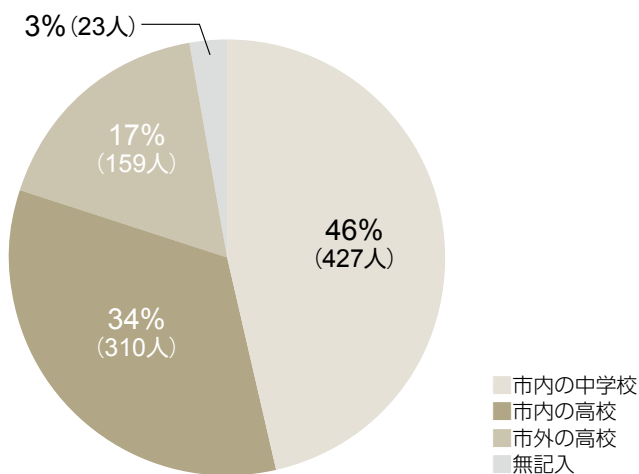
Q14 あなたの性別を教えてください。

【回答919人】



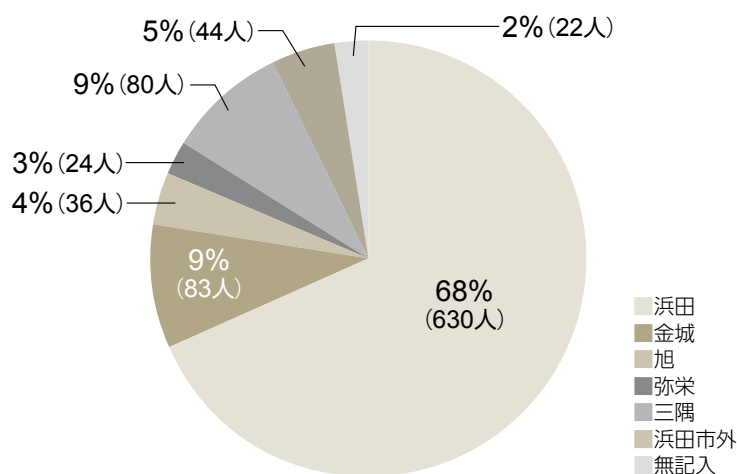
Q17 あなたが現在通われている学校について教えてください。

【回答919人】



Q18 お住まいの地区はどちらですか。

【回答919人】

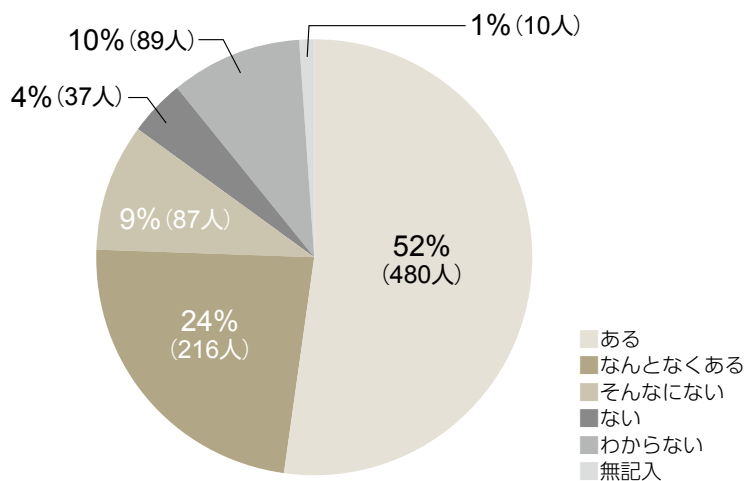


●76%が結婚願望あり。中学生は約7割、高校生は8割強が結婚したい気持ちがあるかという問いに対して「ある」「なんとなくある」と回答。

三菱UFJリサーチ&コンサルティングが中高生1,200名を対象とした「子育て支援策等に関する調査2014報告書(中高生の意識調査)概要」によると、「ぜひ結婚したい」、もしくは「できるだけ結婚したい」と考える層は、6～7割程度とあることから、全国の平均値より少し高い値であると言える。

Q13 あなたは将来結婚したい気持ちがありますか。

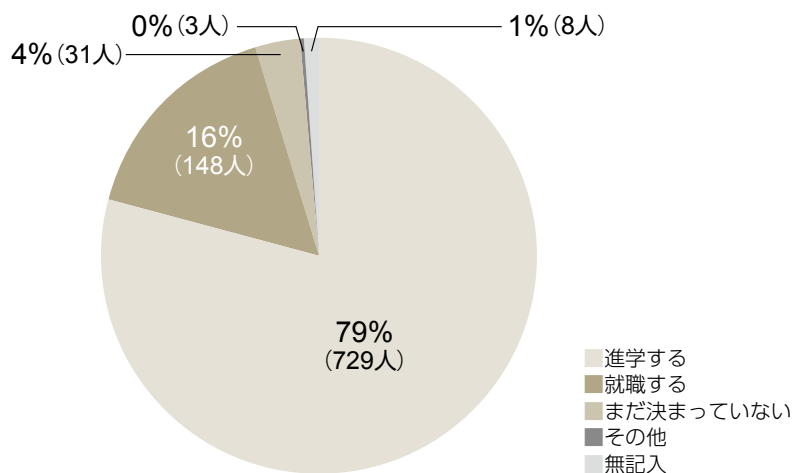
【回答919人】



- 中学生の卒業後の進路は進学93%、就職2%、決まっていない4%、
市内の高校生は進学73%、就職25%、決まっていない2%、
市外の高校生は進学59%、就職37%、決まっていない3%。

Q15 現時点で学校卒業後の進路の予定を教えてください。

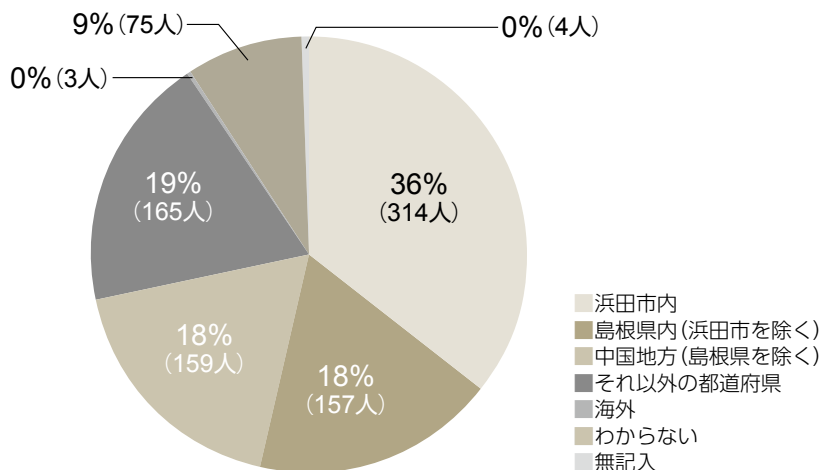
【回答919人】



- 中学生の希望の進学・就職エリアは「浜田市内」59%、「島根県内」25%、「中国地方」3%。
市内高校生の希望の進学・就職エリアは「浜田市内」16%、「島根県内」11%、「中国地方」32%。
市外高校生の希望の進学・就職エリアは「浜田市内」13%、「島根県内」14%、「中国地方」30%。

Q16 第1希望の進学先、就職先の所在地はどちらですか。

【回答877人】



中・高校生の地域や将来意識に関するアンケート ーアンケートご協力のお願いー このアンケートは、中・高生の皆さんの地域および将来への意識を聞いて、今後の浜田市のまちづくりに役立てるものです。 浜田市では、「元気な浜田」をつくるための「浜田市総合振興計画」や、地方創生のための「総合戦略」を策定します。計画の策定に当たっては、多くの市民の皆さんのご意見を参考にしています。 あなたが普段思っていることについて、意見や考えを聞かせてください。 ※このアンケートでは、個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることはありません。 平成27年7月 浜田市長 久保田 重市 ご記入にあたってのお願い (1) アンケートは7ページ、18問あります。全ての質問にお答えください。 (2) 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。 「その他」を選んだ場合は、()内にその内容をできるだけ具体的に書いてください。 (3) 設問4、7の自由回答は、あなたの考えを具体的に書いてください。 (4) 全て記入し終わったら、7月15日(水)までに担任の先生に提出してください。 (5) アンケート用紙には、名前を書く必要はありません。 調査に関する質問にご意見 浜田市地域政策部 地域プロジェクト推進室 住所：浜田市南町1番地 電話：(0855) 25-9221 までお問い合わせください。	カッコ内の指示に従い、当てはまる番号を○で囲んでください。 問1. あなたは浜田市が好きですか。(当てはまるものを1つ) - 好き - どちらかというくらい好き - どちらでもない - あまり好きではない - 好きではない 問2. 浜田市の好きなところはどこですか。(当てはまるものをいくつでも) - 友だちなど人間関係がある - 地域の人とのつきあいがある - 家族・親戚がいる - 生まれ育った場所である - 通学、通勤、買い物など生活が便利である - 楽しく遊べる場所が多い - 通っている学校が魅力的である - 治安がよく安心して暮らせる - 地域の集まりや行事が盛んである - 歴史や伝統が豊かである - 文化や芸術にふれる機会が多い - 自然環境に恵まれている - わからない - その他 ()
問3. 浜田市の悪いところはどこですか。(当てはまるものをいくつでも) - 友だちなど人間関係があまりない - 地域の人とのつきあいがない - 通学、通勤、買い物など生活が不便である - 楽しく遊べる場所が少ない - 通っている学校が魅力的ではない - 治安がよく安心して暮らせる - 地域の集まりや行事が少ない - 歴史や伝統があまりない - 文化や芸術にふれる機会が少ない - 自然環境が豊かではない - わからない - その他 () 問4. あなたは、どんな浜田市に住みたいですか？(自由に記入してください) 問5. あなたは、浜田市を良くしたり、元気にしたいと思いませんか。(当てはまるものを1つ) - そう思う - どちらかというくらい思う - どちらでもない - あまりそうは思わない - そうは思わない	問6. あなたは浜田市で働きたい、または外に出ていつか異なって浜田市で働きたいと思いませんか。(当てはまるものを1つ) - そう思う - どちらかというくらい思う - どちらでもない - あまりそうは思わない - そうは思わない 問7. 問6でそう答えた理由を教えてください。(自由に記入してください) 問8. あなたは、地域の活動で参加してもいいと思うものがありますか。(当てはまるものをいくつでも) - 学校のクラブ活動やサークル活動 - 地域のスポーツやレクリエーション活動 - 地域で行われている講座やイベント - 小さい子供の集まるイベントなどのボランティア活動 - 高齢者や障がい者の人に対するボランティア活動 - 地域の防火・防災などの安全を支える活動 - 環境保護活動や清掃・リサイクル活動 - 伝統文化の保存活動 - その他 () - 参加したいものはない

問9. あなたは将来の夢や目標、やりたいことがありますか。 〈当てはまるものを1つ〉 1. 具体的に 2. ぼんやりとはある 3. 考えている、探しているところ 4. 考えたことがない 5. ない 問10. あなたは将来の夢や目標についていつごろから考え始めましたか。 〈当てはまるものを1つ〉 1. 小学校以前 2. 小学校低学年 (1～3年) 3. 小学校高学年 (4～6年) 4. 中学校1年 5. 中学校2年 6. 中学校3年 7. 高校1年 8. 高校2年 9. 高校3年 10. まだ考えていない 4	問11. あなたは将来、どのような働き方をしたいですか。 〈当てはまるものをいくつでも〉 1. 自分に合う仕事を見つけて一生懸命働きたい 2. 好きなことや関心のあることを仕事にしたい 3. 会社に属られない働き方をしたい 4. 既にいる仕事が見つかるまでは、パートやフリーターでいたい 5. できれば定年まで同じ会社で働きたい 6. 仕事とくらしのバランスをうまく取りながら生活したい 7. 地域に貢献できる仕事をしたい 8. 大企業に就職して働きたい 9. 新しい仕事や会社を自分で作ってみたい 10. 海外で仕事をしてみたい 11. 働きなくてもよければ働きたくない 12. 家で家事や育児に専念したい 13. その他 () 14. わからない 問12. あなたは将来の選択に対して気がかりなことはありますか。 〈当てはまるものをいくつでも〉 1. 自分に合っているものがわからない 2. やりたいことが見つからない、わからない 3. 社会に出て行く能力があるか自信がない 4. やりたいことへの情報不足している 5. やりたい情報を集めたり、選んでいく方法がわからない 6. 自分で決断する自信がない 7. 経済的な理由で自分の希望がかなわないかもしれない 8. 家族と意見が合わない 9. 先生と意見が合わない 10. 移らない 5
問13. あなたは将来結婚したい気持ちがありますか。〈当てはまるものを1つ〉 1. ある 2. なんとなくある 3. そんなにない 4. ない 5. わからない 問14. あなたの性別を教えてください。〈当てはまるものを1つ〉 1. 男性 2. 女性 問15. 現時点で学校卒業後の進路の予定を教えてください。 1. 進学する 2. 就職する 3. まだ決まっていない 4. その他 () ※問15で「1. 進学する」は2. 就職するに選んだ方に質問します。 問16. 選んだ進学先、就職先の所在地はどちらですか。 1. 浜田市 2. 島根県内 (浜田市を除く) 3. 中国地方 (島根県を除く) 4. それ以外の都道府県 5. 海外 6. わからない 6	問17. あなたが現在通われている学校について教えてください。 1. 市内の中学校 2. 市内の高校 3. 市外の高校 問18. お住みの地区はどちらですか。 1. 浜田 2. 全県 3. 基 4. 指定 5. 二島 6. 浜田市民 ※アンケートはこれで終了となります。ご協力ありがとうございました。 7

資料9 地区まちづくり推進委員会の設立状況

平成27年12月末現在

自治区	公民館区	団体名	構成町内 ※1	世帯数 ※2	設立年月	地区まちづくり 計画の策定
浜田	浜 田	－	－	－	－	－
	石 見	1 浜田市長沢町まちづくり推進委員会	18	1,803	平成23年 5月	(策定中)
		2 佐野・宇津井地区まちづくり推進委員会	8	173	平成25年 5月	－
		3 みはし地域まちづくりネットワーク	33	2,495	平成25年 8月	－
	長 浜	4 長浜地区まちづくり推進委員会	28	2,563	平成23年 4月	－
	周 布	5 日脚町まちづくり推進委員会	11	820	平成24年 6月	－
	大 麻	6 大麻地区まちづくり推進委員会	3	132	平成21年 9月	－
	美 川	7 美川地区まちづくりネットワーク	27	899	平成22年 4月	平成24年12月
	国 府	8 上府町まちづくり推進委員会	7	531	平成24年 4月	平成25年 3月
		9 下府町まちづくり推進委員会	9	690	平成25年 4月	－
		10 宇野町・下有福町・大金町連合自治会長会	8	309	平成26年 9月	－
小計 7区	10団体	152	10,415			
金城	久 佐	11 久佐地区まちづくり振興会	8	150	平成23年11月	平成25年 3月
	今 福	12 今福地区まちづくり推進委員会	9	228	平成23年 7月	平成25年 4月
	美 又	13 美又湯気の里づくり委員会	8	151	平成23年 6月	平成24年12月
	雲 城	14 雲城まちづくり委員会	23	1,089	平成23年 6月	平成24年 3月
	波 佐	15 縁の里づくり委員会	22	324	平成20年 9月	平成22年 2月
	小 国					
小計 6区	5団体	70	1,942			
旭	今 市	16 今市地区まちづくり推進委員会	24	750	平成21年 7月	平成21年 3月
	木 田	17 木田地区まちづくり推進委員会	10	131	平成22年 8月	平成22年 3月
	和 田	18 和田地区まちづくり推進委員会	11	266	平成22年 4月	平成22年 3月
	都 川	19 都川地区まちづくり推進委員会	6	145	平成23年 5月	平成23年 3月
	市 木	20 市木地区まちづくり推進委員会	9	150	平成23年 3月	平成23年 3月
小計 5区	5団体	60	1,442			
弥栄	安 城	21 安城地区まちづくり推進委員会	17	401	平成22年12月	平成24年 3月
	杵 束	22 杵束地区まちづくり推進委員会	12	314	平成22年12月	平成24年 3月
	小計 2区	2団体	29	715		
三隅	岡 見	23 岡見地区まちづくり推進委員会	21	605	平成21年 3月	(策定中)
	三 保	24 三保地区まちづくり推進委員会	14	779	平成22年 2月	平成27年 3月
	白 砂	25 白砂まちづくり委員会	4	122	平成22年 4月	平成23年 4月
	三 隅	26 三隅地区まちづくり推進協議会	21	893	平成22年 3月	平成25年 3月
	黒 沢	27 黒沢まちづくり委員会	11	146	平成21年 2月	平成25年 2月
	井 野	28 まちづくり推進委員会 I N O	18	388	平成21年 4月	平成24年 3月
小計 6区	6団体	89	2,933			
合 計	26区	28団体	400	17,447		策定済 19団体

※1 「構成町内」は、まちづくり総合交付金の算定基準によるため、町内会等の住民自治組織の町内数とは異なる場合があります。

※2 「世帯数」は、まちづくり総合交付金の算定基準日(平成27年2月1日)における世帯数に、地区まちづくり推進委員会で活動する企業・団体等を含んでいるため、町内会等の住民自治組織の世帯数とは異なる場合があります。

資料10 用語の解説

【ア行】

ICT	コンピュータやネットワーク等の、情報や通信に関する技術の総称。 ITにコミュニケーション(Communication)の要素を明示した呼び名。	P8
IT	コンピュータ(情報)やインターネット(通信)に関連する技術の総称。	P41
アウトソーシング	組織内部で行っていた業務を外部の専門業者などに委託すること。	P146
空き家バンク制度	所有者等が使用予定のない空き家を「空き家バンク」に登録し、利用希望者等に情報提供を行うことで空き家の有効活用を図る制度。	P121
アダプトプログラム	道路や河川、公園など公共空間に対して、市民や事業者及び行政が協働で美化活動を行うしくみのこと。	P84
域外マネー	区域・領域の外、外国に存在するお金のこと。	P31
イノベーション	「革新」・「刷新」・「一新」の意味。新しい市場や資源の開拓、新機軸の導入など、新しく取り入れて実施したり、手を加えて改変すること。	P31
医療従事者	医師、薬剤師、看護師、助産師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等、医療機関や福祉施設等に従事する様々な国家資格等を持つ専門職。	P46
インターンシップ	学生が一定期間企業などの中で研修生として働き、自分の将来に関連する就業体験を行うこと。	P33
インバウンド	外国人の訪日旅行。	P40
インフラ	港湾・道路・通信・公共施設など、産業や生活の基盤となる施設のこと。	P34
ウェブサイト	ウェブページが集まった意味のあるまとまりのこと。	P146
エコライフ	地球に負担の少ない生活スタイルのこと。	P86
SNS	ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称。インターネット上の交流を通して社会的ネットワーク(ソーシャル・ネットワーク)を構築するサービスのこと。	P47
NPO	非営利組織。政府や民間企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公的活動を行う組織・団体。	P12
FTTH(光ファイバー網)	光ファイバーによるデータ通信サービスのこと。	P42
AED	電気ショックが必要な心臓の状態を自動で判断し、心臓に電気ショックを与えることができる機器。自動体外式除細動器。	P97

【カ行】

合併算定替による特別加算措置	市町村合併の特例措置として、合併後10年間は地方交付税(普通交付税)が合併前の市町村が存続したものとして算定した合算額が保障される制度。合併後11年目以降の5年間で、段階的に縮減され、合併後16年目以降は1市町村として算定した普通交付税額となる。	P145
キャリア教育	職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけると共に、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育のこと。	P33
クラウドサービス	インターネット上でデータ等を保存するサービスのこと。	P97
ケーブルテレビ	アンテナを用いずに映像を同軸ケーブル、光ファイバー・ケーブルを用いて伝送する有線テレビ。双方向通信が可能。回線は、電話、インターネットにも用いられる。	P110
健康寿命	65歳に達した方が健康で自立した生活が送れる期間(65歳+平均自立期間)をいう。	P49
高規格救急自動車	救急救命士が高度な救命処置を行えるように、広いスペースと救命資機材を積載した救急車。	P113
交流人口	観光者等の一時的・短期的な滞在人口。	P37

五地想ものがたり	本市の5自治区の食文化への想いを込め、「ご馳走」と掛け合わせた造語。山海の豊富な食資源を見つめ直すとともに、地産地消へのこだわりとおもてなしの心を持って本市の食の魅力をPRする取組。	P38
コミュニティ	人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域、その人々の集団。地域社会。共同体。	P61
コンベンション	会議やイベントなどの、人、情報、知識、物などの交流の場、集りのこと。	P39

【サ行】

再生可能エネルギー	エネルギー源として永続的に利用することができると認められるもの。(太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスが規定されている。)	P86
シェアハウス	リビングや台所、浴室などを共有し、各住人の個室をプライベート空間とする共同生活スタイルのこと。	P121
JFA夢の教室	財団法人日本サッカー協会主催のJリーグやなでしこリーグの現役選手、OB・OG等の関係者、その他種目の現役選手やOB・OGを「夢先生」として小学校に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行う事業。	P75
シングルペアレント	一人で子育てしている父親または母親のこと。	P120
スマートフォン	パソコンに近い性質を持った多機能性携帯電話。	P98
スラグ	金属の製錬に際して、熔融した金属から分離して浮かぶかす。道路の路盤材やコンクリート骨材として広く用いられる。	P88
セキュリティ	人、地域、住居社会、地域社会、国家、組織、資産などを対象とした、害からの保護。	P98
総合型地域スポーツクラブ	1995年から文部科学省が実施するスポーツ振興施策の一つで、幅広い世代の人々が各自の興味や関心、競技レベルに合わせて、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブ。	P135
ゾーン	地域、区域、範囲。	P14

【タ行】

地域包括ケアシステム	高齢者が住み慣れた地域で、安心して尊厳のあるその人らしい生活を継続することができるよう、医療、介護、福祉の各サービスを包括的、継続的に提供する支援体制。	P55
地産地消	地元で生産されたものを地元で消費すること。	P27
中間育成	天然種苗や人工種苗を放流できる大きさまで育てること。	P25
ツーリズム	自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型余暇活動。	P37
TEU	コンテナ貨物量を表す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1本に相当し、40フィートコンテナ1本は2TEUに相当する。	P36
ドクターヘリ	救急医療用の医療機器を装備したヘリコプターのこと。	P113
トップアスリート	その競技で最高水準の実力を認められている運動選手。	P75
トライアル雇用	公共職業安定所(ハローワーク)の紹介により、特定の求職者を短期間の試用期間を設けて雇用し、企業側と求職者側が相互に適性を判断した後、両者が合意すれば本採用が決まるという制度。	P31

【ナ行】

ネットワーク	網の目のような組織。通信網、道路網、情報網。	P12
年齢調整死亡率	年齢構成が異なる地域間の比較を行う目的で年齢人口を調整した死亡率。	P51

【ハ行】

バイオマス	生物資源の量を表す言葉で、再生可能な生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)のこと。	P26
-------	---	-----

パブリックコメント	市の基本的な計画等の策定等に当たって、その案を公表して市民の意見を募集し、その提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、意見の概要とこれに対する市の考え方を公表する一連の仕組み。	P146
バリアフリー	社会的弱者が社会生活を送る上で支障となる物理的・精神的な障壁を取り除くこと。	P60
B C P (事業継続計画)	緊急事態(自然災害や大火災、テロ等)に陥った場合に、そこで被る損害を最小限におさえつつ、公共サービスを継続したり、早急に復旧したりするために、日頃行う活動や、緊急時の行動をまとめたプランのこと。	P98
P D C A サイクル	事業などの管理において、Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) の4段階を繰り返すことにより、継続的に改善していくための手法。	P146
ブランド	銘柄。商標。	P24
ブルーツーリズム	島や沿海部の漁村に滞在し、魅力的で充実したマリンライフの体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる余暇活動のこと。	P39
ふるさと郷育	浜田市の教育資源(ひと・もの・こと)を活かした教育活動を推進するため、浜田市の理念として、ふるさと教育の「教」の字を「郷里」の「郷」の字に置き換えた「郷育」という言葉を用いて、「ふるさと郷育(きょういく)」という。	P69
ポートセールス	貿易貨物の集積、寄港船舶の誘致を目的とした港湾の振興策。	P36

【マ行】

マッチング	結び付けること。	P43
ミスマッチ	一致しないこと。	P41
メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満によって、様々な病気が引き起こされやすくなった状態のこと。	P49
メディア	情報媒体。	P68
モータリゼーション	自動車の大衆化。	P99

【ヤ行】

U・Iターン	都市に居住する人が、故郷(Uターン)や自分の出身地以外の地方(Iターン)へ住居を移すこと。	P23
ユネスコ無形文化遺産	2003年第32回ユネスコ総会で採択された「無形文化遺産保護条約」に基づき、慣習、描写、表現、知識及び技術並びにそれらに関連する器具、物品、加工品及び文化的空間で、社会、集団及び場合によっては個人が自己の文化遺産の一部として認めるもの。	P32
予約型乗合タクシー	玄関先から目的地までドア・トゥ・ドアで移動できる低料金の乗合タクシー。デマンドタクシー。	P94

【ラ行】

ライフスタイル	生活様式や営み方、また、人生観、価値観・習慣などを含めた個人の生き方。	P8
ライフステージ	人の一生を少年期、青年期、壮年期、老齢期等と分けた、それぞれの段階。	P49
リシップ事業	古くなった漁船を大規模修繕し、鮮度保持能力等の機能の向上や漁船の長寿命化を図る事業。	P23
レファレンスサービス	図書館で、資料・情報を求める利用者に対して提供される文献の紹介・提供等の援助のこと。	P72
6次産業化	地域で生産(1次産業)された農林水産物等を素材に、商品加工(2次産業)し、より付加価値をつけて流通・販売(3次産業)すること。(1次×2次×3次=6次)	P27

資料11 憲章、宣言、浜田市民歌

浜田市市民憲章

(平成18年10月1日制定)

わたくしたちは 青い海と緑の大地に恵まれた
美しい自然と温かい人情を誇る浜田市民です
明るく豊かなまちをつくるために
この憲章を定め 力をあわせて進みます

- 一 きまりを守り よい習慣を育て きれいな住みよいまちをつくります
- 一 心身の健康に心がけ 明るい家庭を築き ゆとりのあるまちをつくります
- 一 働く喜びと誇りをもち 活力のあるまちをつくります
- 一 郷土を愛し 教養を高め 文化のかおるまちをつくります
- 一 高齢者をうやまい こどもをはぐくみ みんなが助け合うまちをつくります
- 一 命の大切さを深く考え お互いを尊重するまちをつくります

浜田市高齢者憲章

(平成20年3月21日制定)

わたくしたちは、浜田市民であることを誇りとし、美しい自然に恵まれたこのまちで、自立の心を持ち、主体的な役割を担い、いきいきと暮らしていくことをめざして、この憲章を定めます。

- 一 生涯を通じて、心身の健康づくりにつとめます。
- 一 みずからの知識と経験を活かし、すすんで社会活動に参加します。
- 一 ふるさとの伝統文化を守り伝えるまちづくりをすすめます。
- 一 互いに支えあい、人情あふれる地域づくりをすすめます。
- 一 生きがいを持ち、心豊かな人生をはぐくみます。

浜田市核兵器廃絶平和都市宣言

(平成18年6月21日制定)

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、世界各地において地域紛争や武力抗争は後を絶たず、また、核の脅威は依然として継続しており、全人類のひとしく憂えるところである。

わが国は、世界で最初の核被爆国として、この悲惨な体験を風化させることなく、再びあの広島、長崎の惨禍を繰り返させてはならない。

浜田市は、日本国憲法の平和理念に基づき、核兵器の全面廃絶を求め、恒久平和を全世界に向かって訴えるものである。

よって、ここに核兵器廃絶平和都市を宣言する。

浜田市スポーツ都市宣言

(平成18年10月1日制定)

私たちは、生涯にわたってスポーツに親しみ、明るく豊かな浜田市を築くためスポーツ都市を宣言します。

- 一 私たちは、家庭、職場、地域にスポーツを取り入れ、健康な心とからだをつくります。
- 一 私たちは、スポーツを楽しみ、友情と交流の輪をひろげます。
- 一 私たちは、スポーツを通して活力ある住みよいまちをつくります。

浜田市人権尊重都市宣言

(平成20年6月25日制定)

すべての人は、生まれながらにして、人としての尊厳が守られ大切にされ、人間らしく幸せに生きる権利を有しています。

しかしながら、私たちのまわりには、今なお同和問題をはじめとするさまざまな人権侵害、不当な差別や偏見が存在し、また社会情勢や価値観の変化による新たな人権問題も生じています。

私たち一人ひとは、日本国憲法や世界人権宣言の理念の下、たゆまぬ努力を重ねて、差別や偏見をなくし、すべての人が個人として尊重され、それぞれの能力に応じた可能性を十分発揮できる社会の実現をめざします。

ここに、私たち浜田市民は、人権問題について共に考え、理解し、お互いが人権を尊重する心豊かな住みよいまちを築くため、人権尊重の都市「浜田市」を宣言します。

浜田市市民防災の日

(平成18年6月21日制定)

浜田市の市民防災の日を次のように制定する。

- 1 昭和58年7月の豪雨は、本市に未曾有の被害をもたらした。私たちは、この災害による尊い犠牲を追想するとともに、未来永劫にわたってその記憶を忘れてはならない。
この経験から得た教訓を活かし、市及び市内の防災関係諸機関をはじめ、市民一人ひとりが暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等について防災意識を高め、災害への備えを充実強化していくことが求められている。
よって、安全で明るいまちづくりを推進するため、ここに「市民防災の日」を定める。
- 2 市民防災の日は、毎年7月23日とする。

浜田市いのちと安全安心の日

(平成22年9月22日制定)

平成21年に、島根県立大学生が理不尽に命を絶たれるという悲惨な事件が発生しました。

私たち浜田市民は、浜田市で学び、世界に羽ばたこうとしていた若者の命が奪われたという事実を重く受け止めています。

この記憶を風化させることなく、命を尊び、だれもが安全で安心して、幸せに暮らすことのできるまちづくりを推進するため、ここに、「いのちと安全安心の日」を制定します。

私たちは、命の大切さとその重さを認識し、犯罪を起こさせないよう防犯意識を高めるとともに、地域に根付いた防犯対策を推進していく必要があります。

よって、市民一人ひとりが命の尊さと安全安心について考えるため、毎年10月26日を「いのちと安全安心の日」として定めます。

浜田市民歌

(平成18年10月1日制定)

浜田市民歌(呼びかける風に)

作詞 五十川 式部
作曲 小六 禮次郎

一

広がる空を 共に仰げば
歌はあふれる 緑の大地
手をのべ呼びかける

さわやかな風に 花はほほえみ
あたらしい風に 歩め明日へ
浜田 わがまち 地球といきるまち

二

眩しい海に 汽笛高鳴り
希望はばたく 魚は躍る
手をのべ呼びかける

はれやかな風に 心ひらいて
あたらしい風に 歩め明日へ
浜田 わがまち 笑顔つどうまち

三

連なる山に 森に流れに
恵み豊かな 優しい故郷
手をのべ呼びかける

ふくやかな風に 人よ輝き
あたらしい風に 歩め明日へ
浜田 わがまち 文化かおるまち
浜田 わがまち 地球といきるまち

mf ♩ 100 さわやかに

あはゆ はうみ たほぐ うきめ ばりに げなれ おかが にきに もてり ときも をに ちるう だおこ いどき のはい りなし どかさ みさや るくな れたか ふばた

ちきゅうと いきる まち えがお つど う まち

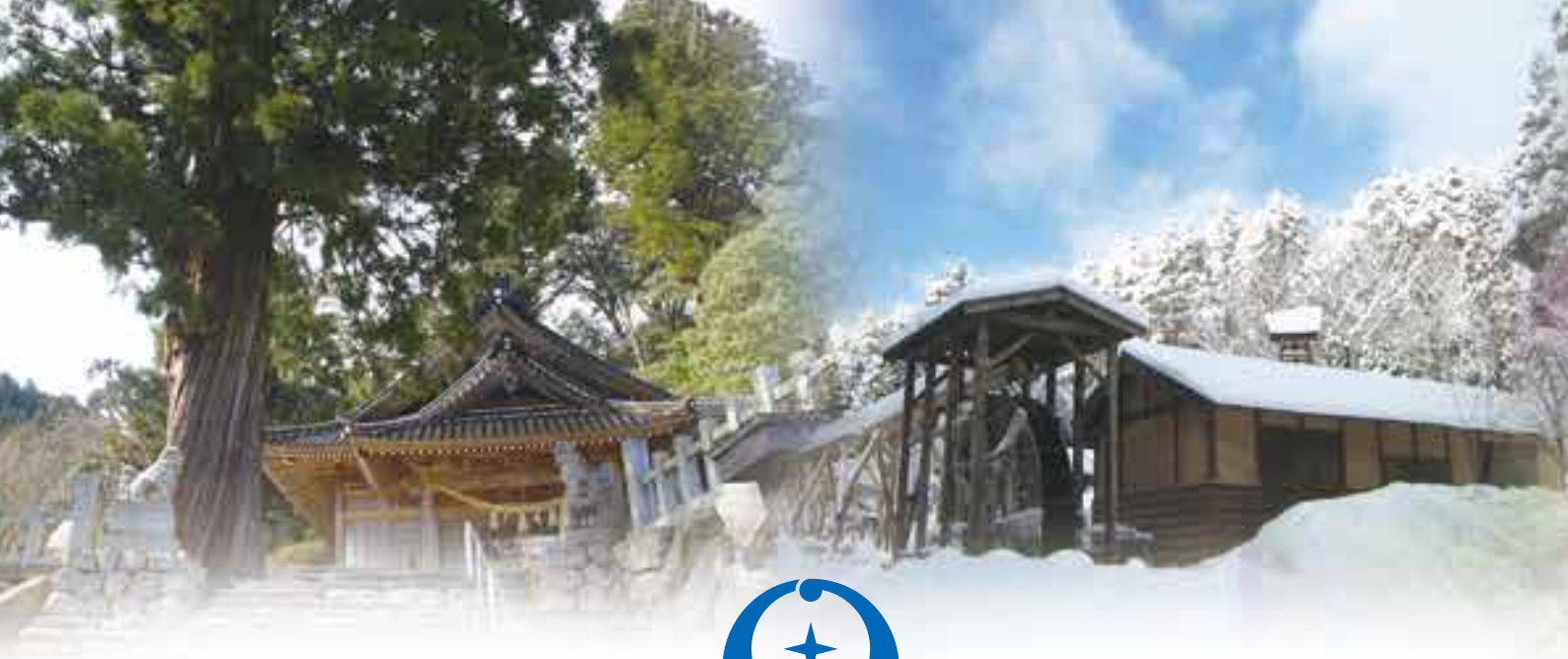
ぶんか かおる ま ち は ま だ わ が ま ち ち きゅう と い き る ま ち

第2次浜田市総合振興計画

基本構想 平成28年度～平成37年度
前期基本計画 平成28年度～平成33年度

発 行 ・ 島根県浜田市
〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地
発 行 年 月 ・ 平成28年3月
電 話 ・ 0855-25-9200
F A X ・ 0855-23-1866
ホームページ ・ <http://www.city.hamada.shimane.jp>
企 画 ・ 編 集 ・ 浜田市地域政策部政策企画課

印 刷 ・ 有限会社 原 印刷



浜田市

市の花・木・魚

(平成 21 年 10 月 1 日制定)



市の花「つつじ」

市内に広く植えられており、春の開花期に一斉に咲きそろう様子は、春爛漫の浜田の景色を印象づけるものとなっています。種類も多く、栽培、普及が容易であることから多くの市民に親しまれています。



市の木「さくら」

市内各所で多数植栽されているとともに、山々には野生種も点在し、花の時期にはそれぞれに風情のある姿で多くの市民の目を楽しませています。三隅町内数ヶ所に、町内外の多くの人々に愛される「一本桜」の大樹が存在していることも特徴的です。



市の魚「のどぐろ」

古くから地域で親しまれているとともに、近年は「どんちっち三魚」の一つとしてブランド化され、浜田を代表する魚として全国的な知名度も上がっています。市民にとっても、「味のよさ」と「高級感」から人気の高い魚です。

